



CN-HE02D

 Strada

# Panasonic®

## 取扱説明書

カーナビステーション

品番 **CN-HE02D**  
**CN-HE02WD**  
販売ルート限定モデル **CN-HA02D**  
販売ルート限定モデル **CN-HA02WD**

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.4～7)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

下記サイトで「ユーザー登録」をお願いします

<https://panasonic.jp/navi/>

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

スマートフォンアプリ「ナビヘルプ」のご案内

お客様に、本機をより使いこなしていただくための使い方ガイドを、スマートフォンアプリ「ナビヘルプ」と当社のWebサイトで案内しています。

ナビヘルプについて詳しくは、下記のWebサイトをご覧ください。  
<https://panasonic.jp/car/navi/navihelp/>



保証書別添付

安全上のご注意

はじめに

ナビゲーション

オーディオ

BLUETOOTH®/  
Wi-Fi

その他

# もくじ

安全上のご注意.....	4
--------------	---

## はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと.....	8
各部のなまえとはたらき.....	10
基本操作・準備(確認・調整).....	11
初期設定をする.....	13
メニュー画面の操作.....	14
トップメニューを編集する.....	15

## ナビゲーション

地図の見かた.....	17
地図の操作.....	24
行き先までのルートを作るには.....	25
ルートを編集する.....	27
地点を登録する(登録地).....	27

## オーディオ

オーディオの基本操作.....	29
テレビを見る.....	31
ラジオを聞く.....	32
交通情報を聞く.....	33
ディスクを再生する.....	34
BLUETOOTH Audioを再生する.....	39
SDメモリーカードに音楽CDを録音する.....	40
本機で録音した音楽データを再生する.....	42
SDメモリーカード・USBメモリーを再生する.....	43
iPodを再生する.....	47

## BLUETOOTH®/Wi-Fi

■ 登録・接続	
BLUETOOTH®対応機器を利用する前に.....	49
BLUETOOTH対応機器を本機と接続する.....	50
スマートフォンのWi-Fiネットワークに本機を接続する.....	51
■ ハンズフリー	
ハンズフリーで通話する.....	53

## その他

### ■ その他の機能

本機の情報を確認する .....	55
メンテナンス情報を設定する .....	55
本機のデータを更新する .....	57

### ■ 別売品

ETC2.0車載器と接続して使う .....	59
リアビューカメラと組み合わせる .....	60
その他の外部機器と接続して使う .....	61

### ■ 設定

利用に応じた設定に変える .....	62
--------------------	----

### ■ 困ったとき

よくあるお問い合わせ .....	67
故障かな!? .....	68

### ■ 必要なとき

テレビ・ラジオの受信について .....	71
ディスクについて .....	72
SDメモリーカード・USBメモリー について .....	75
データ作成時の留意点 .....	76
BLUETOOTHについて .....	80
Wi-Fiについて .....	81
ナビゲーションシステムとは .....	82
VICSについて .....	87
商標などについて .....	89
ソフトウェア、およびオープン ソースソフトウェアについて .....	91
仕様 .....	92
保証とアフターサービス .....	94

## スマートフォンアプリ「ナビヘルプ」のご案内

お客様に、本機をより使いこなしていただくための使い方ガイドを、スマートフォンアプリ「ナビヘルプ」と当社のWebサイトで案内しています。

ナビヘルプについて詳しくは、下記のWebサイトをご覧ください。  
<https://panasonic.jp/car/navi/navihelp/>

本機にナビヘルプのダウンロード先の二次元コードを表示できます。(P.66)  
二次元コードをスマートフォンで読み取ってください。



本機に収録されている地図ソフトについての注意事項や、収録情報の詳細についても、上記の使い方ガイドにてご案内しています。

使い方ガイドをパソコンでご覧になる場合は、下記のWebサイトをご覧ください。  
<http://car.panasonic.jp/support/manual/navi/agree.html>

## 本書の読みかた

- 本書では、CN-HE02D/CN-HA02Dを例に説明しています。
- タッチキーとナビゲーションユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例) **案内スタート** **決定** : タッチキー

**AUDIO** **MENU** **MAP** : ナビゲーションユニットのボタン

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

## 取り付けや配線をするとき

### **警告**



**本機はDC12 V $\ominus$ アース車専用です**  
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

**取付説明書に従って、取り付けや配線をする**  
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

**作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

**作業前に、必ずバッテリーの $\ominus$ 端子を外す**  
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

**使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する**  
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする**  
アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

**サイドブレーキコードを正しく配線する**  
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回す**  
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

**作業後は、車の電装品\*の動作確認をする**  
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

\* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

**フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける**  
視界不良による事故の原因となります。

## 取り付けや配線をするとき



## 警告

**取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する**

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**視界や運転を妨げる場所\*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**

交通事故やけがの原因となります。

\*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

**車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない**  
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。  
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

**エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない**  
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

**取り付けやアース配線に、車の保安部品\*を使わない**

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

\*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

**ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**コードを破損しない**

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

**分解や改造をしない**

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

分解禁止

- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

## 取り付けや配線をするとき

 注意**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

**しっかり確実に取り付け**

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。  
取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。  
取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

**板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する**

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**本機の通風孔をふさがない**

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

## ご使用になるとき

 警告**ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う**

交通事故の原因となります。

**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。  
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」に依頼してください。

**スピーカーは、本機の仕様に適合したもの\*を使用する**

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

\*最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

**医療用電気機器などへの影響を確認する**

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

**運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない**

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

**大きな音量で使用しない**

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

## ご使用になるとき

 **警告****故障や異常な状態のまま使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

**SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**機器内部に、水や異物を入れない**

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

**雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない**

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

 **注意****本機を車載用以外には、使用しない**

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

**可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**

特に、ディスプレイの起倒や角度調整の際にご注意ください。けがの原因となります。

**落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない**

故障や火災の原因となります。

**開いたディスプレイの上に物を置かない**

液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

「使い方ガイド」(P.3)ではご使用前に確認いただきたい内容について、さらに詳しい説明を掲載しています。

「使い方ガイド」トップページから **お使いになる前に** ▶ **はじめに** の順にお進みください。

## ご使用前に知っておいていただきたいこと

### ご使用上の注意事項など

#### エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

#### 他の機器\*1と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの動作を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。(配線の処理や機器の固定など)
- 温度が高くなる場所(直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど)に放置しないでください。

\*1 iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、ビデオカメラ など

#### スマートフォンを使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

#### 液晶ディスプレイについて

- 先端が硬いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。キズ、破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。

- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶保護シートを使用しないでください。感圧式タッチパネルのため、フィルムを貼る際に生じるひずみやたわみがタッチ操作検出誤作動の原因となります。

### 免責事項について

- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト/アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 本機は、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではありません。また、本機のソフト(収録されている地図データや安全支援機能など)が完全・正確であることを、保証するものではありません。
- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。



- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
  - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
  - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

### 著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

### 本体・液晶画面のお手入れ

- お手入れは必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)で行ってください。
  - 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。
- 液晶画面のお手入れの際には、次のことをお守りください。
- 表面の汚れなどは、乾いたきれいなやわらかい布で、軽く拭いてください。
  - 次のものを使用しないでください。
    - ・汚れや砂、硬いゴミがついた布
    - ・濡れた布(ウェットティッシュ含む)
    - ・硬い布
    - ・液晶パネル以外を拭いた布
    - ・ティッシュペーパー
    - ・研磨剤
    - ・洗剤(ガラス用クリーナー含む)
    - ・シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
  - 液晶画面を強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

### ピックアップレンズについて

- 長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。
- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
  - それでもよくなる場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

### 汚れを防ぐために

- ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。
- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

### お願い

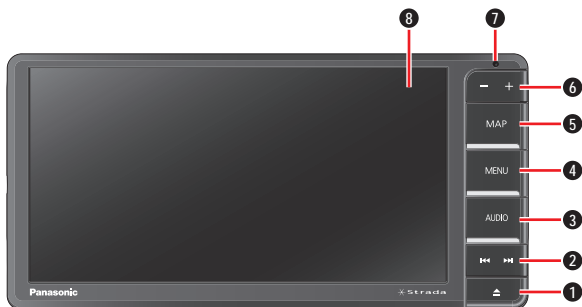
- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

# 各部のなまえとはたらき

CN-HE02D / CN-HA02D



CN-HE02WD / CN-HA02WD



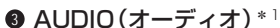
- OPEN/EJECT 画面の表示/消去
- ディスプレイを閉じる



- 頭出し
- 早送り・早戻し(押し続ける)
- スロー再生(一時停止中に押し続ける)

- 選局
- シーク選局(0.5秒以上押す)

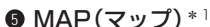
- 選局



- オーディオ画面に切り換え
- オーディオ OFF/ON(2秒以上押す)



- トップメニューを表示



- 自車位置(現在地)を表示
- 画面調整(画質調整)画面を表示(2秒以上押す)



- 音量を調整

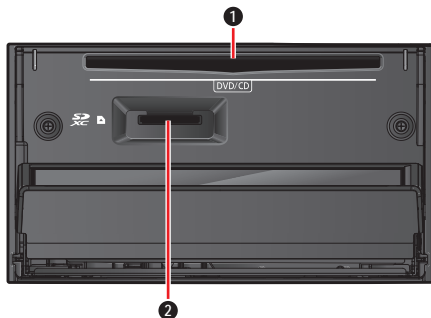


- ハンズフリー通話時に使用



- タッチ操作時に使用

<ディスプレイ開>



例：CN-HE02D/CN-HA02D

### ① ディスク挿入口

### ② SDメモリーカード挿入口

市販のSDメモリーカード(P.43)(P.75)を挿入します。

- \* 1 ステータスバーからも操作できます。タッチキーが表示されていない場合は、表示内容を切り換えてください。(P.18)

## 基本操作・準備(確認・調整)

### 電源を入れる

#### 1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

- 本機の電源が入ります。

#### 2 警告画面の注意事項を確認して、**OK**を選ぶ

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、**[MAP]**を押すとナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH®対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。(P.55)
- ドライブレコーダー(CA-DR03HTD)を接続している場合、取付調整が行われていないと本機の電源を入れたときに、取付調整を促すメッセージが表示されます。

### 電源を切る

#### 車のエンジンを止める (ACCをOFFにする)

- 本機の電源が切れます。
- ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。(P.64)

## 自転車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自転車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自転車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。

### 1 GPSを受信していることを確認する



- 1 GPSを受信すると、方位マークの背景が赤から白に変わります。
- 2 GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。
  - 未受信の場合は、--:--と表示されます。

### 2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自転車マークの位置と実際の自転車位置との誤差が補正されます。

## 音量を調整する

### 本体ボタンで音量を調整する

調整したい音声が出力された状態で、**□田**を押して調整する

- 出力中の音声の音量が調整されます。
- 調整中はステータスバーに音量が表示されます。

### お知らせ

- オーディオまたはハンズフリーの音声とナビ案内が同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- オーディオの音量は、ソースごと(個別)に記憶されます。
- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- ナビ案内音に関する設定は(P.12)

### システム情報・設定メニューから音量を調整する

#### 1 システム情報・設定メニューから、**音量設定**を選ぶ

#### 2 各項目の音量を調整する

- +**: 調整範囲で音量を調整する  
[太字: お買い上げ時の設定]
  - ・ナビ案内音: 0~5~11
  - ・ハンズフリー着信音: 0~20~40
  - ・ハンズフリー受話音: 0~20~40
  - ・ハンズフリー送話音: 1~4~7
- スライダーをドラッグしても、音量を調整できます。
- お買い上げ時の設定に戻すには、**初期値 ▶ はい**を選びます。

### お知らせ

- ハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。

## オーディオの音量を一時的に消音する(ミュート)

### 準備

- ステアリングスイッチに「MUTE」を割り当ててください。

### 「MUTE」を割り当てたステアリングスイッチを押す

- 再度押すと解除されます。

### お知らせ

- ナビゲーションの音声案内、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)は消音されません。
- オーディオをOFFにするには(P.30)をご覧ください。

## ディスプレイの角度を調整する(TILT)

### 1 を押す

### 2 角度を調整する(5段階)

- **UP**: 傾きが大きくなる
- **DOWN**: 傾きが小さくなる

### 3 を押す

### お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

### お知らせ

- エンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。

## 初期設定をする

### 車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

### 1 システム情報・設定メニューから、**車種設定**を選ぶ

### 2 **車種**を選ぶ

### 3 車種を選ぶ

- **小型車両**[お買い上げ時の設定]

### 自宅を登録する

### 1 自宅が登録されていない状態で、トップメニュー(P.14)または全機能一覧から、**自宅**を選ぶ

### 2 **はい**を選ぶ

- 自宅設定メニューが表示されます。

### 3 自宅の場所を検索する

- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.25)
- **現在地付近**: 現在地付近の地図を表示\*1
- **出発地付近**: 出発地付近の地図を表示\*2
- **目的地付近**: 目的地付近の地図を表示\*2
- **地図**: 最後に表示していた地図を表示

### 4 **設定**▶**保存**を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートが探索されます。
- 自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコン(🏠)が表示されます。

\*1 ルート未設定時のみ

\*2 ルート案内中のみ

## メニュー画面の操作

### トップメニューを表示する

**MENU**を押す

- トップメニューが表示されます。

### トップメニュー



- ① All Apps (全機能一覧)
- ② ショートカット
- ③ その他のメニュー
  - Audio ON/OFF (P.30)
  - ハンズフリー (P.54)
  - 情報・設定  
情報・設定メニューを表示
  - ルート  
全ルート図を表示

### お知らせ

- 全機能一覧から、よく使う項目をショートカットとして登録できます。(P.14)

### ショートカット

#### ショートカットの切り換えかた

画面が複数ある場合は、**◀/▶**を選ぶか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り換わります。

#### フリック



#### ドラッグ



- USB\*<sup>1</sup> (P.44、P.45)
  - AM (P.32)
  - MEMORY MUSIC\*<sup>2</sup> (P.42)
  - iPod (P.48)
  - 交通情報 (P.33)
  - SD\*<sup>1</sup> (P.44、P.45)
  - BLUETOOTH Audio (P.39)
  - TV (P.31)
  - 名称
  - 電話番号  
電話番号検索画面を表示
  - FM (P.32)
  - DISC (DVD/CD) \*<sup>3</sup> (P.34、P.37、P.38)
  - 履歴  
履歴検索画面を表示
  - 自宅  
あらかじめ自宅を登録しておく、自宅を目的地に設定します。
  - 住所
  - ジャンル  
ジャンル検索画面を表示
  - マップコード  
マップコード検索画面を表示
  - ドライブレコーダー (P.61)
  - 登録地  
登録地検索画面を表示
  - 周辺施設  
周辺施設検索画面を表示
- \* 1 パソコンなどで保存したデータ(音楽/動画)の再生
- \* 2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
- \* 3 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

## トップメニューを編集する

全機能一覧の項目から、お好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

### トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

- 全機能一覧から、トップメニューに表示させたい項目の「メニューに表示」チェックボックスをONにする
- チェックした項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。
  - タッチするごとに、ON/OFFが切り換わります。

### ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)

#### 配置変更のしかた

- 1 システム情報・設定メニューから、**トップメニューカスタマイズ**を選ぶ
  - トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
  - トップメニューでショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できません。

## 2 配置を変更したい項目をドラッグして、移動する

- ドラッグした位置に項目を移動します。
- ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。
- すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。  
不要な項目を他の画面に移動させるか削除(P.16)してから移動してください。
- この操作を繰り返し、ショートカットの配置をしてください。

### ■ 画面内を移動する

選択した項目が、ドラッグした位置に移動されます。



### ■ 他の画面に移動する

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。



## 3 決定を選ぶ

- トップメニューカスタマイズを完了します。

## ショートカットを削除する

### 1 システム情報・設定メニューから、**トップメニューカスタマイズ**を選ぶ

- トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
- トップメニューでショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できません。

### 2 削除したい項目を画面までドラッグする

- ドラッグした項目がショートカットから削除されます。
- この操作を繰り返し、不要なショートカットを削除してください。



### 3 決定を選ぶ

- トップメニューカスタマイズを完了します。

## お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、**初期化 ▶ はい**を選ぶ



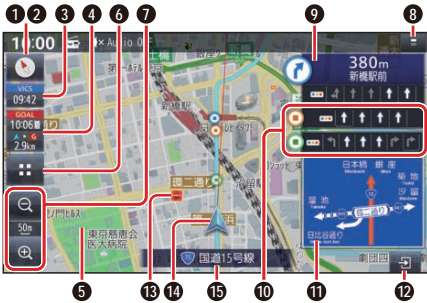
「使い方ガイド」(P.3)ではナビゲーション機能について、さらに詳しい説明を掲載しています。

「使い方ガイド」トップページから機能別で調べる▶ナビゲーションの順にお進みください。

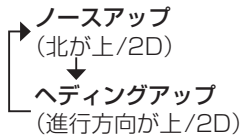
## 地図の見かた

### 現在地画面

[MAP]を押すと、現在地画面が表示されます。



- ① 方位マーク (地図の向きを表示)  
タッチするごとに、地図の向きが切り換わる



- ② GPS受信状態  
現在地の測位の状態を方位マークの色で表示  
●白色：測位完了  
●赤色：測位未完了(測位計算中)
- ③ VICS タイムスタンプ  
VICSの情報が提供された時刻を表示  
●タッチすると、近くの渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。(前方約10 km以内)
- ④ 到着時刻/残距離表示  
ルート案内中に、目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示
- ⑤ ゾーン30  
ゾーン30を薄い緑色でエリア表示します。
- ⑥ (ランチャー)  
ランチャーを表示(地図画面の種類によっては、表示されません。)(P.19)

### ⑦ 縮尺表示

縮尺5 m~50 mでは、建物の形まで詳細に表示される市街地図になります。

- 広域
- 50m 現在の縮尺を表示
- 詳細

### ⑧ ステータスバー

● 現在時刻・オーディオ状態・録音状態・外部機器の状態を表示します。また、本機を操作できます。(P.18)

### ⑨ 分岐交差点情報表示

ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内

### ⑩ 通過交差点情報表示

直進する2つ目までの通過交差点について、通るべき車線情報を案内

- 緑色のマーク：1つ目の通過交差点
- 橙色のマーク：2つ目の通過交差点

### ⑪ 方面看板表示

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印を表示

- 表示する/しないの設定(P.63)

### ⑫ 案内図切換タッチキー

拡大図・案内図の表示/切り換え/消去に使用

### ⑬ ランドマーク

目印となる施設などを地図上にマークで表示(縮尺5 m~200 mで表示)

- 表示させるランドマークを選ぶことができます。

### ⑭ 自転車マーク

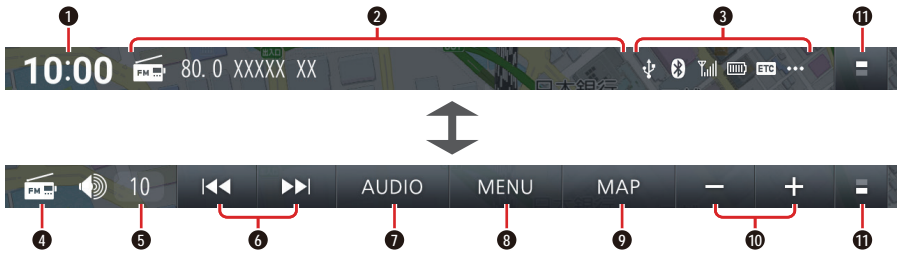
自転車位置と進行方向を表示

- 色と大きさを変更できます。

### ⑮ 道路名称

現在地の道路名称を表示

## ステータスバー



- ① 現在時刻  
GPSで受信した現在時刻が表示されます。  
(未受信の場合は--:--と表示されます。)
- ② オーディオ状態表示  
選択中のオーディオソース、再生中のオーディオ情報を表示
- ③ 録音状態・外部機器状態表示  
ETC2.0車載器、ドライブレコーダー、USB機器、スマートフォンなど、本機と接続された機器の状態を表示
  - ETC状態表示
    - ETC: 有効なETCカードが挿入済
    - 🚫: ETCカード有効期限切れ
    - 🚫: 利用不能 (ETCカード未挿入など)
  - ドライブレコーダー状態表示
    - 📹: 自動録画中
    - 📹: 手動録画中
    - 📹: 録画停止中
  - データ更新状態
    - 📶: 更新データあり (準備完了)
    - 📶: 更新用SDメモリーカードを挿入 (P.58) / 矢印点滅時は更新準備中
    - 📶: 更新準備中断、または更新データ不備
  - 🛠️: メンテナンス通知あり
  - 🔋: スマートフォンの電池残量 (6段階)
  - 📶: スマートフォンの電波状態 (6段階)
  - 📶: Wi-Fiの接続状態 (5段階)
  - 📶: BLUETOOTH接続あり
  - 📶: USB機器接続あり
  - REC: CD録音中
- ④ 選択中のオーディオ  
選択中のオーディオソースを表示
- ⑤ 再生音量
  - 選択中のオーディオソースの音量を表示
  - 🚫: オーディオ消音中
- ⑥ TUNE/TRACKタッチキー
  - オーディオ操作に使用
  - ⏪ ⏩ と同じ機能です。
- ⑦ AUDIOタッチキー
  - オーディオ画面に切り換え
  - オーディオOFF/ON (約2秒以上タッチする)
  - [AUDIO]と同じ機能です。
- ⑧ MENUタッチキー
  - トップメニューを表示
  - [MENU]と同じ機能です。
- ⑨ MAPタッチキー
  - 自車位置 (現在地) を表示
  - 画面調整 (画質調整) 画面を表示 (約2秒以上タッチする)
  - [MAP]と同じ機能です。
- ⑩ 音量タッチキー
  - 音量を調整
  - 📶 / 🔊 と同じ機能です。
- ⑪ 切り換えタッチキー
  - ステータスバーの表示内容を切り換え

## お知らせ

- ステータスバーに表示しきれないアイコンがある場合、📶が表示されます。下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。📶が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。

## 地図モード画面

現在地からスクロール (P.24) すると地図モード画面になります。



### ① カーソル(+)

地図の中心に表示

### ② 施設名

カーソル(+)の地点に施設名の情報がある場合に表示(トップメニューまたは全機能一覧から検索した施設に施設名称の情報がある場合のみ)

### ③ ←(戻る)

1つ前の画面に戻る

### ④ カーソル(+)

から現在地の方向を赤い直線を表示

### ⑤ 設定

地点メニューを表示 (P.20)

### ⑥ 地点名称

カーソルの位置の住所を表示

### ⑦ マップコード (P.85)

カーソルの位置のマップコードを表示

### お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。

## ランチャー

現在地画面で **☰** を選ぶと、ランチャーが表示されます。

地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



- 表示されていない項目は、**<** **>** をタッチするか、左右にフリック/ドラッグすると表示されます。

### お知らせ

- 拡大図表示中は、**☰** は表示されません。拡大図を非表示にしてから操作してください。

## ランチャー機能一覧

項目	機能
TUNE	ストラダチューンを行う
ルート消去	ルートを消去する (P.26)
案内スタート / 案内ストップ	ルート案内を開始 / 中止する (P.26)
ルート編集	ルート編集画面を表示する (P.27)
再探索	再探索を開始する
道路切替	自車位置を別の道路に切り換える
周辺施設	周辺施設検索をする
右画面表示	現在地画面にオーディオの映像、地図を表示 / 消去する
地点登録	現在地を登録地として登録する (P.27)
ランドマーク表示 / ランドマーク非表示	ランドマークを表示 / 消去する
ランドマーク設定	ランドマークの設定画面を表示する

## 地点メニュー

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

### 地図モード画面 (P.19) から 設定を選ぶ

- 地点メニューが表示されます。



- **ここに行く**  
カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する
- **立寄る**  
カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する (ルート案内中のみ)
- **地点登録**  
カーソルの地点を登録地として登録する
- **地点編集**  
地点編集画面を表示する (カーソルの地点が登録地の場合のみ)
- **周辺検索**  
カーソルの周辺の施設を検索する
- **閉じる**  
地図モード画面を表示する

### お知らせ

- 表示されるタッチキーは、状況によって異なります。

## ルート案内中の画面



- 1 2 経由地マーク**  
経由地 (P.27) に設定した場所を表示
- 2 案内ルート**  
目的地までの案内ルートを表示
- 3 G 目的地マーク**  
目的地に設定した場所を表示

- 4 残距離 / 到着時刻表示**  
目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示
  - タッチすると、残距離 / 到着時刻を、目的地までにするか経由地までにするかを切り換えます。
- 5 目的地方向直線表示**  
現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。
  - 到着時刻 / 残距離を表示している目的地 (経由地) までの方向が表示されます。
  - 表示する / しないの設定 (P.62)
- 6 通過ポイント**  
ルート案内中に通過するポイントを表示

### お知らせ

- 高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色またはピンク色で表示されます。

## 安全・安心運転サポート

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

### 道路上に表示



### 標識拡大表示



### 現在地名に割り込み表示





### お知らせ

- 音声では案内されない情報もあります。
- 安全・安心運転サポートの案内について (P.21) をご覧ください。
- 割り込み表示のしかたを設定できます。

## 安全・安心運転サポートの案内

状況	表示		音声
急なカーブに近づくとき* (カーブ案内)		急カーブ 注意	この先、カーブです。
制限速度を超過して走行 しているときは* <sup>2</sup> * <sup>3</sup> * <sup>4</sup> (速度超過警告)		制限速度	速度超過です。
制限速度が変わると* <sup>2</sup> * <sup>3</sup> (制限速度案内)		制限速度	なし
一般道で一時停止が必要 な地点に近づくとき* <sup>2</sup> (一時停止案内)		一時停止	この先、一時停止です。
レーンが減少する高速道 路では* <sup>2</sup> (高速レーン減少案内)		左レーン 減少	この先、左車線が減少します。
高速道路で注意の必要な 合流地点に近づくとき (合流案内)		左から 合流	この先、左からの合流車 両に注意してください。
踏切付近では* <sup>2</sup> * <sup>5</sup> (踏切案内)		この先 踏切	この先、踏切です。
一般道の指定方向外進行 禁止の交差点では* <sup>2</sup> * <sup>6</sup> * <sup>7</sup> (指定方向外禁止案内)		指定方向 外 進行禁止	なし

状況	表示		音声
一般道の事故多発地点に近づくとき*2 (事故多発地点案内)	 <b>事故多発!</b>		この先、事故多発地点です。注意してください。

- \* 1 カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
- \* 2 情報のある区間・地点のみ
- \* 3 ゾーン30走行中は、制限速度の標識のかわりにゾーン30のアイコンが表示されます。
- \* 4 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。
- \* 5 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。
- \* 6 時間規制や車種規制がある標識は、規制対象時間、規制対象車種に該当したときのみ案内されます。また、複雑な形状の標識は案内されません。
- \* 7 ルート案内中は表示されません。

**お知らせ**

- 複数の安全・安心運転サポートがある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
  - 割り込み表示のしかたを設定できます。
  - 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
  - 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
  - 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。

**逆走注意アラーム**

SA/PA内で駐車してエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。



現在自動車専用道路を走行しています。逆走にご注意ください。

- 逆走注意アラームの設定 (P.63)

**お知らせ**

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。

## 逆走検知警告

### ■ 高速道路を逆走しているときは

IC/JCTなどの合流部、SA/PAの入口・出口、高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。



逆走のおそれがあります。  
進行方向にご注意ください。

- 逆走していない状態で警告が表示された場合は、「ここでは案内しない」のチェックボックスをONにすると、次回からその地点での逆走検知警告は案内されなくなります。
- 逆走してしまった場合は、安全な場所（路側帯など）に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、ON/OFFの設定が切り換わります。(P.63)
- 逆走検知警告について、詳しくは(P.84)をご覧ください。

### ■ 逆走検知警告表示を消去するには

**解除** を選ぶ

#### お知らせ

- 逆走検知警告は、都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- 「出荷状態に戻す」(P.66)の操作を行うと、**ここでは案内しない** の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

## 地図の操作

### 地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。

#### タッチでスクロールする

##### 地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。

#### ドラッグでスクロールする

##### スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

#### フリックでスクロールする

##### スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

#### お知らせ

- 走行中は、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。



# 行き先までのルートを作るには

## ルート案内を開始するまで

### 行き先を探す

#### ■ トップメニュー (P.14)



#### ■ 全機能一覧



- **名称**
- **電話番号**  
電話番号検索画面を表示
- **履歴**  
履歴検索画面を表示
- **自宅**  
あらかじめ自宅を登録しておく、自宅を目的地に設定します。
- **住所**
- **ジャンル**  
ジャンル検索画面を表示
- **マップコード**  
マップコード検索画面を表示
- **登録地**  
登録地検索画面を表示
- **周辺施設**  
周辺施設検索画面を表示

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

#### 1 目的地を検索する

例：ジャンル検索



#### ① リスト

- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(枠内でフリック/ドラッグしてください。)

#### ② あかさたなタッチキー

- 50音順に並んだリストで表示されます。

- 行ごとにリストを切り換えます。
- 同じタッチキーを連続して選ぶと、選ぶごとに、段(あ→い→う→え→お)が切り換わります。

#### 2 リストから施設を選び、決定を選ぶ

- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

## 行き先に設定する

1 地点メニューから**ここに行く**を選ぶ

- ルート探索を開始します。
- **施設詳細**：選ぶと、施設の詳細情報を表示（検索した施設に詳細情報がある場合に表示）
- 地点メニューの操作 (P.20)

2 全ルート図から、**案内スタート**を選ぶ

- 1 ルート上の高速出入口を表示
  - 2 探索条件（走行距離・所要時間・料金）を表示
- 案内を開始します。（車を発進させても案内を開始します。）
  - 全ルート図でタッチキーを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。

## ルート案内を中止する

1 トップメニュー (P.14) から**ルート**を選ぶ2 全ルート図から **案内ストップ**を選ぶ

ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

- ルートそのものは消去されません。

## ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、全ルート図から **案内スタート**を選ぶ

ルート案内が再開されます。

## お知らせ

- ランチャー (P.19) から、ルート案内中止/再開できます。

## ルートを消去する

1 トップメニュー (P.14) から**ルート**を選ぶ2 全ルート図から **ルート消去**を選ぶ3 **はい**を選ぶ

ルートそのものが消去されます。

## お知らせ

- ランチャー (P.19) から、ルートの消去ができます。

## ルートを編集する

### 経由地を追加・消去する

#### 経由地を追加する

- 1 ランチャー (P.19) または全ルート図から **ルート編集** を選ぶ
- 2 ルート編集画面から経由地を追加したい区間の **+** を選ぶ
- 3 経由地にしたい場所を検索し、**設定** を選ぶ
  - **出発地付近** : 出発地付近の地図を表示
  - **目的地付近** : 目的地付近の地図を表示
  - **地図** : 最後に表示していた地図を表示
- 4 **立寄る** を選ぶ
  - 検索した地点が経由地として追加されます。

#### 経由地を消去する

- 1 ランチャー (P.19) または全ルート図から **ルート編集** を選ぶ
- 2 ルート編集画面から、消去したい経由地を選ぶ
- 3 **地点消去** ▶ **はい** を選ぶ
  - 選択した経由地が消去されます。

## 地点を登録する(登録地)

### 登録地について

登録地は、最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

- 登録された地点は、**+**マークで表示されます。

### 地点を登録する

#### カーソル(+)の地点を登録する

- 1 地図モード画面から、登録したい場所にカーソル(+)を合わせ、**設定** を選ぶ
  - 2 地点メニューから **地点登録** を選ぶ
- 
- カーソル(+)の位置(地点)が登録されます。

#### 現在地を登録する

- 現在地画面を表示させ、ランチャー (P.19) から **地点登録** を選ぶ
- 現在地が登録地として登録されます。

## 登録地リストから地点を登録する

1 登録地リストから **新規登録** を選ぶ

## 2 地点を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。
- **現在地付近**：現在地付近の地図を表示\*<sup>1</sup>
- **出発地付近**：出発地付近の地図を表示\*<sup>2</sup>
- **目的地付近**：目的地付近の地図を表示\*<sup>2</sup>
- **地図**：最後に表示していた地図を表示

3 登録したい場所にカーソルを合わせ、**設定** を選ぶ4 **保存** を選ぶ

- 地点が登録されます。

\* 1 ルート未設定時のみ

\* 2 ルート案内中のみ

## 登録地リストを管理する

登録した登録地/自宅のリストをまとめてSDカードに保存できます。保存したリストを読み込んで登録済みの登録地/自宅を反映することもできます。

## 登録地リストをSDカードに保存する

## 準備

- 本機で初期化したSDメモリーカード(P.66)を挿入してください。(P.43)

1 ナビ情報・設定メニューから **SDカードへの登録地保存/読込** を選ぶ2 **保存** を選ぶ3 パスワードを入力し、**決定** を選ぶ

- パスワードは6桁の数字を設定します。

4 **はい** を選ぶ

## 登録地リストをSDカードから読み込む

- 登録地リストを読み込むと、読み込み前に本機に登録されていた登録地/自宅はすべて消去されます。

## 準備

- 登録地リストが保存されたSDメモリーカード(P.28)を挿入してください。(P.43)

1 ナビ情報・設定メニューから **SDカードへの登録地保存/読込** を選ぶ2 **読込** を選び、パスワードを入力する3 **はい** ▶ **はい** を選ぶ

「使い方ガイド」(P.3)ではオーディオ機能について、さらに詳しい説明を掲載しています。  
「使い方ガイド」トップページから機能別で調べる ▶ オーディオ の順にお進みください。

## オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画の映像は表示されません。  
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。

### オーディオに切り換える

**AUDIO**を押す

- オーディオ画面に切り換わります。
- オーディオOFFの状態では**AUDIO**を押すと、オーディオソース一覧が表示されます。

### オーディオのソースを選ぶ

- 1 オーディオOFFの状態、またはオーディオ画面表示中に、**AUDIO**を押す
  - オーディオソース一覧が表示されます。
- 2 オーディオソース一覧から切り換えたいソースを選ぶ
  - 選んだソースに切り換わります。
  - 全機能一覧から選ぶこともできます。

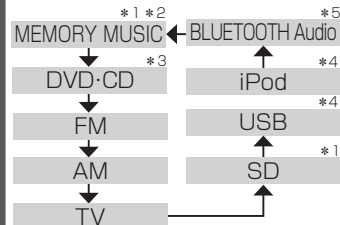
### ステアリングスイッチで

準備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(取付説明書)

**SOURCE(ソース)を割り当てたステアリングスイッチを押す**

- 押すごとにソースが切り換わります。



- オーディオがOFFのときは、最初MEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報を聞いているときは、最初TVに切り換わります。
- 交通情報に切り換えることはできません。

- \* 1 SDメモリーカード挿入時のみ
- \* 2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
- \* 3 ディスク(CD・MP3/WMA・DVD)挿入時のみ
- \* 4 USBメモリー、iPod接続時のみ(同時には接続できません。)
- \* 5 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

## オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に、**[MAP]**を押す

- オーディオの音声を出力したまま、ナビゲーション(現在地画面)に切り換わります。
- オーディオ画面に戻るには、**[AUDIO]**を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。

## オーディオをOFF/ONにする

本体ボタンで

### ■ オーディオをOFFにする

**[AUDIO]**を2秒以上押す

- オーディオがOFFになります。

### ■ オーディオをONにする

オーディオOFFの状態、**[AUDIO]**を2秒以上押す

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

トップメニューから

### ■ オーディオをOFFにする

トップメニュー(P.14)から

**Audio ON/OFF**を選ぶ



- オーディオがOFFになります。

### ■ オーディオをONにする

オーディオOFFの状態、  
トップメニュー(P.14)から  
**Audio ON/OFF**を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

オーディオ情報・設定メニューから

### ■ オーディオをOFFにする

オーディオ情報・設定メニューから、  
オーディオ出力**OFF**を選ぶ

- オーディオがOFFになります。

### ■ オーディオをONにする

オーディオOFFの状態、  
オーディオ情報・設定メニューから、  
オーディオ出力**ON**を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

## 音質・音場を調整する(オーディオチューン)

フェーダー/バランス、エフェクトなどの音質設定をすることができます。

オーディオ情報・設定メニューで  
**オーディオチューン**を選ぶ

- オーディオチューン画面が表示されます。

## 車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れたときのオーディオ音量調整OFF/ONを切り換える

オーディオ情報・設定メニューから、  
リバース時のオーディオ音量ダウン  
**OFF**を選ぶ

- 車のシフトレバーを「R」に入れてもオーディオの音量は変化しません。
- ON**を選ぶと、車のシフトレバーを「R」に入れるとオーディオ音量が下がります。

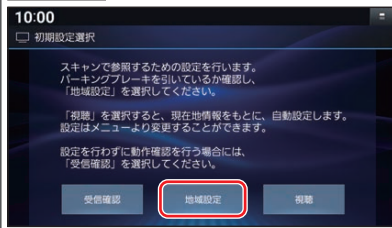
# テレビを見る

トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から**TV**を選ぶと、テレビに切り換わります。

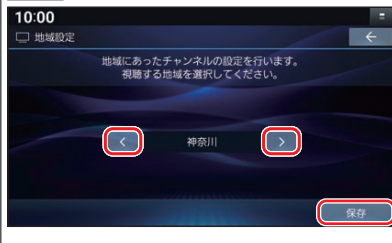
## デジタルテレビ初期設定を行う

初期設定をしていない場合、初めてテレビに切り換えたときは初期設定画面が表示されます。初期設定では、お住いの地域を設定します。

### 1 地域設定 を選ぶ



### 2 お住まいの地域を < > で選び、保存 を選ぶ



- 地上デジタル放送をご覧になれます。

### お知らせ

- 引っ越しなどでお住まいの地域が変わる場合は、設定を変更してください。(P.32)
- 手順 1 で **視聴** を選ぶと、初期設定をしないで、すぐにTVを見ることが出来ます。この場合、受信する放送局は現在地情報をもとに自動で設定されますので、お住まいの地域の設定に変更するために、地域設定で設定を変更してください。(P.32)

## 周波数再編(リパック)について

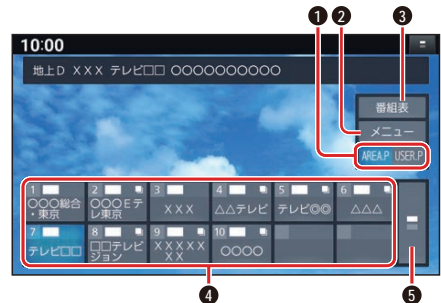
周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネルのスキャンを行ってください。チャンネルのスキャンを行うには、チャンネル設定をユーザープリセットに切り換えて**ユーザープリセット設定**を選びます。

## テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

### 選局パネル



- 1 チャンネル設定の切り換え (P.32)
- 2 テレビメニューを表示
- 3 番組表を表示
- 4 チャンネルリスト
- 5 チャンネルリストの切り換え

## 選局する

チャンネルを選局します。

### ■ チャンネルリストから選局する

#### チャンネルリストから放送局を選ぶ

- 選んだチャンネルに切り換わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り換わります。

### ■ チャンネルを1つずつ切り換える

◀▶を押す

- 押すごとに1チャンネルずつ切り換わります。

## チャンネル設定を切り換える

### AREA.P / USER.P を選ぶ

- 選んだチャンネル設定に切り換わります。
- **AREA.P**: エリアプリセット  
自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り換わります。(自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。)  
エリアプリセットには24チャンネルまで登録されます。
- **USER.P**: ユーザープリセット  
自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。  
ユーザープリセットには12チャンネルまで登録できます。  
(初めて **USER.P** を選ぶと、スキャンするかメッセージが表示されますので **はい** を選んでスキャンを開始してください。)

## お住まいの地域を変更する

1 選局パネル(P.31)から**メニュー**  
▶ **設定** ▶ **地域設定** を選ぶ

2 お住いの地域を◀▶で選び、**保存**を選ぶ

## ラジオを聞く

トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から**FM・AM**のいずれかを選ぶと、ラジオに切り換わります。

## ラジオ画面(エリア選択時)



- 1 受信中の放送局を表示
- 2 周波数切り換え
- 3 エリアモードに切り換え
- 4 ユーザーモードに切り換え
- 5 放送局リスト
- 6 オーディオチューン
- 7 エリア更新

## リストから選局する

### 放送局リストから、放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

## 周波数で選局する

### ◀▶で周波数を切り換える

- 「ピツ」と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

## エリアモードに切り換える

### エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストが表示されます。



## ユーザーモードに切り換える

### ユーザーを選ぶ

- プリセットした放送局リストが表示されます。
- お好みの放送局を登録できます。

## 放送局をリストに記憶させる(プリセットメモリー)

ユーザーモードに切り換えて行ってください。

### 1 周波数で選局する

### 2 放送局リストの登録したい枠を約0.5秒以上タッチする

- 選局された放送局が、選んだ枠に登録されます。

## 放送局リストを更新する

エリアモードで使用し、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合は、受信エリアを更新してください。

### 更新を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストに更新されます。

## お知らせ

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
  - ・放送局が表示されない/実際とは異なる放送局が表示される
  - ・リストに表示されている放送局を選択しても、切り換わらない(放送を受信できない)
  - ・リストに表示されている放送局とは違う放送局に切り換わる
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

## 交通情報を聞く

- 1 トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から**交通情報**を選ぶ  
●交通情報に切り換わります。

- 2 **1620kHz / 1629kHz**を選ぶ  
[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]

## ディスクを再生する

- 本機で再生できるディスクについて (P.72)

### お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

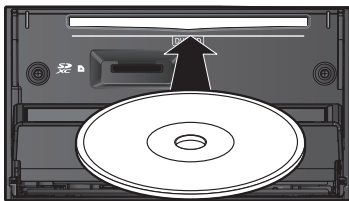
## ディスクを挿入する


- 1 を押す

- 2 OPEN/EJECT画面から**OPEN**を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

- 3 ラベル面を上にしてディスクを挿入する



- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- を押して、手でディスプレイを閉じることもできます。

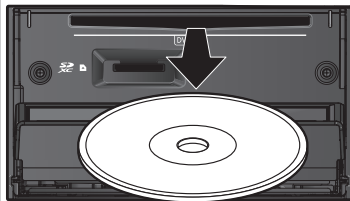
## ディスクを取り出す

- 1 を押す

- 2 OPEN/EJECT画面から**DISC EJECT**を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。


- 3 ディスクを取り出す




- 4 を押す

- ディスプレイが閉じます。

### お願い

- ディスクが排出されない場合は、を10秒以上押ししてください。

## DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて (P.72)
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、が表示されます。

## 再生する

ディスクを挿入し、トップメニュー (P.14)、オーディオソース一覧 (P.29) または全機能一覧から

### DVDを選ぶ



## 動作操作画面を表示する

DVD再生中に画面をタッチまたはダブルタップする



### ① 操作パネル

**< >**を選んで、操作パネルに表示されるタッチキーを切り換えられます。

### ② 経過時間・総時間・タイムバー

### ③ 操作パネルの消去

## タイトルメニューを表示する

[DVD-Video]

操作パネルから**タイトル**を選ぶ

- タイトルメニューが表示されます。

## トップメニューを表示する [DVD-Video]

操作パネルから**メニュー**を選ぶ

- ディスクのトップメニューが表示されます。

## タイトルリストを表示する [DVD-VR]

操作パネルから**タイトルリスト**を選ぶ

- タイトルリストが表示されます。

## プレイリストを表示する [DVD-VR]

操作パネルから**プレイリスト**を選ぶ

- プレイリストが表示されます。

## 停止

再生中に、操作パネルから**□**を選ぶ



- **▶**を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)

- 停止中に**□**を選ぶと、リジューム再生機能が解除されます。

## 一時停止する

再生中に、操作パネルから**⏸**を選ぶ

- **▶**を選ぶと、再生を開始します。

## 音声を切り換える

操作パネルから**音声**を選ぶ

- 選ぶごとに、音声切り換わります。

## 字幕を切り換える [DVD-Video]

操作パネルから**字幕**を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕切り換わります。

## 字幕を表示/消去する [DVD-VR]

操作パネルから**字幕**を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

## 静止画を切り換える [DVD-VR]

操作パネルから**ページ送り**を選ぶ

- 次の静止画に切り換わります。

## アングルを切り換える [DVD-Video]

操作パネルから**アングル**を選ぶ

- 選ぶごとに、アングル切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューから  
もとの再生に戻る(リジューム)

DVD-Video

操作パネルから**リジューム**を選ぶ

- 元の再生に戻ります。

再生時間を表示する

操作パネルから**タイム**を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。

再生経過時間→タイトル/チャプター  
→表示なし→(再生経過時間に戻る)

操作パネルの位置を切り換える

▲を選ぶ

- 選ぶごとに切り換わります。



メニューなどをカーソルで操作する

▲▼◀▶でカーソルを移動し、●(実行)を選ぶ



- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1つ前の画面に戻る

操作パネルから**リターン**を選ぶ

10キーで選ぶ

1 操作パネルから**10キー**を選ぶ

2 10キーで番号を入力する



- ◀: タッチキーを画面左に移動
- ←: 操作パネルを表示
- ×: タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ  
(サーチ)

1 操作パネルから**サーチ**を選ぶ

2 番号を入力し、**実行**を選ぶ

- 選んだタイトル/チャプターに切り換わります。
- 切替**: タイトル/チャプターを切り換え
- 修正**: 1文字削除

項目を決定する

操作パネルから**エンター**を選ぶ

- 項目が決定されます。

早送り・早戻しする

◀◀ ▶▶を押し続ける

- 5秒以上押し続けると、さらに高速で早送り・早戻しします。離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

一時停止中 (P.35) に◀◀ ▶▶  
を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- ◀◀: [DVD-Video]のみ

チャプターを頭出しする

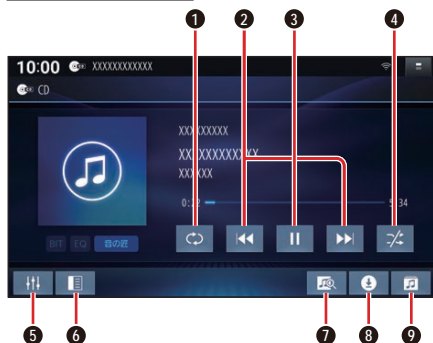
◀◀ ▶▶を押す

## 音楽CD(CD-DA)を再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から**CD**を選ぶと、CDに切り換わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。
- 本機で再生できるディスクについて(P.72)

### 音楽CD再生画面



- 1 繰り返し再生(リピート)
- 2 頭出し/早送り・早戻し
- 3 再生/一時停止
- 4 順不同に再生(ランダム)
- 5 オーディオチューン
- 6 音楽CD録音設定を表示(P.40)
- 7 タイトルオンライン検索
- 8 音楽CD録音画面を表示/録音停止(P.41、P.41)
- 9 曲のリストを表示

### 早送り・早戻しする

#### ◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

### 曲を頭出しする

#### ◀▶をタッチする

## リストから選曲する

### 1 曲を選ぶ

- 曲のリストが表示されます。

### 2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

## 一時停止する

### ⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する(リピート)

### 🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

## 順不同に再生する(ランダム)

### 🎲を選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

### お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モードの切り換え、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。

## タイトル表示について

本機にはGracenote音楽認識サービスのタイトル情報(アルバム名・アーティスト名・曲名)が収録されており、楽曲データと情報が一致した場合に付与されます。

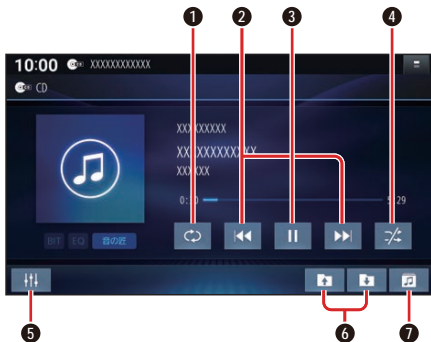
- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときは、タイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- Gracenoteデータベースは更新できます。

## MP3/WMAを再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から**CD**を選べると、CDに切り換わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。
- 本機で再生できるディスクについて(P.72)
- データ作成時の留意点について(P.76)

## MP3/WMA再生画面



- 1 繰り返し再生 (リピート)
- 2 頭出し/早送り・早戻し
- 3 再生/一時停止
- 4 順不同に再生 (ランダム)
- 5 オーディオチューン
- 6 フォルダ頭出し
- 7 フォルダのリストを表示

## 早送り・早戻しする

## ◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

## 曲を頭出しする

## ◀▶をタッチする

## フォルダを頭出しする

## 📁📁を選ぶ

- 選んだフォルダの1曲目から頭出し再生を開始します。

## リストから選曲する

## 1 📁を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

## 2 リストからフォルダ▶曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

## 一時停止する

## ⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する (リピート)

## 🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
1曲リピート→フォルダリピート→通常再生→(1曲リピートに戻る)

## 順不同に再生する (ランダム)

## 🎲を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
フォルダランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

# BLUETOOTH Audioを再生する

## 準備

- BLUETOOTH対応機器を本機に登録・接続してください。(P.50)

## BLUETOOTH Audio再生画面



- 1 繰り返し再生(リピート)
- 2 頭出し/早送り・早戻し
- 3 再生/一時停止
- 4 順不同に再生(ランダム)
- 5 オーディオチューン
- 6 BLUETOOTH設定画面を表示(P.50)
- 7 フォルダからリストを表示

## 再生する

トップメニュー(P.14)、  
オーディオソース一覧(P.29)  
または全機能一覧から

## BLUETOOTH Audioを選ぶ



## 早送り・早戻しする

### ◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

## 曲を頭出しする

### ◀▶をタッチする

## リストから選曲する

### 1 曲を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

### 2 リストからフォルダ▶曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

## 一時停止する

### ⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する(リピート)

### 🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
1曲リピート→フォルダリピート→全曲リピート→通常再生→(1曲リピートに戻る)

## 順不同に再生する(ランダム)

### 🎲を選ぶ

- すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
全曲ランダム→フォルダランダム→通常再生→(全曲ランダムに戻る)

## お知らせ

- 接続機器や音楽再生アプリの説明などもご覧ください。
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
  - 音声出力や画面表示に時間がかかる。
  - 音楽プレーヤーを起動する必要がある。
  - 音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。
  - 画面表示が更新されない。
  - 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。
  - 本機で操作できない。(その場合は、接続機器で操作してください。)
- 接続機器で複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- BLUETOOTH Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
- USB接続したiPodから音楽を再生することを選択している場合は、BLUETOOTH Audio接続は自動で行われません。
- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。

## SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。  
録音した音楽データを再生するときは、(P.42)をご覧ください。

## 録音に関する設定をする

1 CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から**CD**を選ぶ

2 音楽CD再生画面から**■**を選ぶ

3 録音に関する設定をする

## 録音管理

1 **録音モード**を選ぶ

2 録音の仕方を設定する

- **自動録音** [お買い上げ時の設定]  
録音していないCDを、自動的にすべて録音
- **手動録音**  
曲を選んで録音

## 音質

1 **録音音質**を選ぶ

2 録音時の音質を選ぶ(録音曲数の目安\*1)

[お買い上げ時の設定: 256 kbps]

- 96 kbps (約5 825曲)
- 128 kbps (約4 369曲)
- 192 kbps (約2 913曲)
- 256 kbps (約2 185曲)
- 320 kbps (約1 748曲)

\* 1 空き容量が16 GBのSDHCメモリーカードに、4分程度の曲を録音した場合(ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。)



## 録音する

### 準備

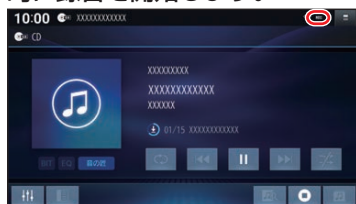
- 本機で初期化したSDメモリーカード(P.66)を挿入してください。(P.43)

### 1 音楽CDを挿入する (P.34)

### 2 録音方法を選ぶ

#### 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



- 録音中、**REC**が表示されます。

#### 録音設定が「手動録音」の場合

#### ■ 全曲を録音する場合

- 1 トップメニュー、オーディオソース一覧または全機能一覧から**CD**を選ぶ
- 2 音楽CD再生画面で**+**を選ぶ
  - 音楽CD録音画面が表示されます。
- 3 **録音方法** ▶ **全曲録音** を選び、**録音開始** を選ぶ
  - 未録音の曲をすべて録音します。

#### ■ 選んだ曲を録音する場合

- 1 トップメニュー、オーディオソース一覧または全機能一覧から**CD**を選ぶ
- 2 音楽CD再生画面で**+**を選ぶ
  - 音楽CD録音画面が表示されます。
- 3 **録音方法** ▶ **選択曲録音** を選ぶ
- 4 リストから曲を選び、**決定** を選ぶ
  - 選んだ項目のチェックボックスがONになります。なお、すでに録音済みの曲はチェックボックスがONになっています。

### 5 録音開始 を選ぶ

## 録音を停止するには

### 録音中画面から、**○** を選ぶ

- 録音を停止します。

### お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。
- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、SDメモリーカード内の保存データについては補償できません。
- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器(パソコンなど)では再生できません。

## 音楽CDの録音について

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.41)を行ってください。
- 録音中にCD以外のソース、AUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- 録音は本機で再生できる市販の音楽CDのみ可能です。
  - MP3/WMAファイルのあるCDは録音できません。
- 録音した曲は本機のMEMORY MUSICソースでのみ再生できます。本機のSDソースでは再生できません。
- 録音した曲は、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

- 音楽CDの記録面の汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- 録音中にキースイッチ(電源ポジション)を切り換えたり、本機に振動や衝撃を加えたりすると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

### お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

### 音楽CD録音時の制限について

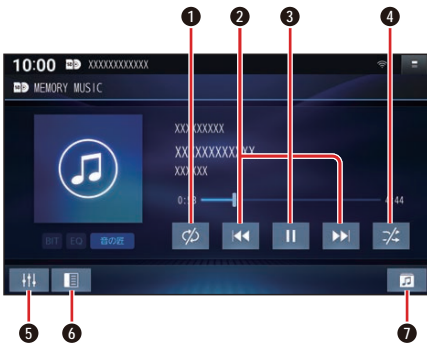
- 本機の動作が遅くなる場合があります。
  - 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
  - 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。<sup>\*1</sup>
    - ・ 頭出し
    - ・ 再生モード(リピート/ランダム)の切り換え
    - ・ 早送り/早戻し
    - ・ タイトル情報オンライン検索
    - ・ 録音設定
    - ・ リスト表示
  - 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。
- <sup>\*1</sup> 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム)の切り換えなどの操作はできません。

## 本機で録音した音楽データを再生する

### 準備

- 本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.41)

### MEMORY MUSIC再生画面



- ① 繰り返し再生(リピート)
- ② 頭出し/早送り・早戻し
- ③ 再生/一時停止
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン
- ⑥ 曲管理画面を表示
- ⑦ 選曲モード設定画面を表示(P.43)

### 再生する

トップメニュー(P.14)、  
オーディオソース一覧(P.29)  
または全機能一覧から  
**MEMORY MUSIC**を選ぶ

### 早送り・早戻しする

◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

### 曲を頭出しする

◀▶をタッチする

### 一時停止する

⏸を選ぶ

- ▶を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する(リピート)

### 🎵を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
1曲リピート→フォルダリピート\*1→通常再生→(1曲リピートに戻る)

## 順不同に再生する(ランダム)

### 🎵を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
フォルダランダム\*1→全曲ランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

\*1 フォルダの内容は、選曲モードによって異なります。(P.43)

## 選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

### 1 🎵を選ぶ

### 2 選曲するリストを選ぶ

- 再生中の**プレイリスト**:  
再生中のリストを表示
- アーティスト**:  
アーティストのリストを表示
- アルバム**:  
アルバムのリストを表示
- 全曲**:  
全曲を表示(リストを絞らない)
- ジャンル**:  
ジャンルのリストを表示

### 3 項目を選んでリストを絞る

- ALL**: 選んだリストの全曲を表示  
(リストを絞らない)

### 4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

### お願い

- MEMORY MUSIC再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

### お知らせ

- 本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報がアルバムや曲に付与され、表示されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、スマートフォンとWi-Fi接続して、オンラインで取得できます。(P.51)

## SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)、動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)の再生ができます。
- 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、(P.42)をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、(P.76)をご覧ください。

## SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

### 1 を押す

### 2 OPEN/EJECT 画面から **OPEN** を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

### 3 SDメモリーカードを奥までまっすぐにカチッと音がするまで挿入する (ラベル面を上にし角がカットされた側を右に)



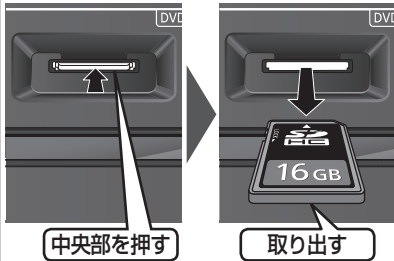
- 自動的にディスプレイが閉じます。
- ディスプレイが閉じない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

## SDメモリーカードを取り出す

1  を押す2 OPEN/EJECT 画面から **OPEN** を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを取り出す

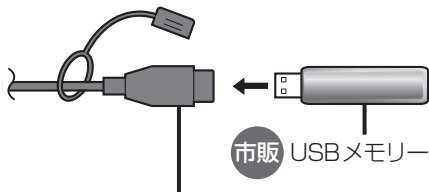
4  を押す

ディスプレイが閉じます。

## お願い

- 再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。  
データが破損するおそれがあります。

## USBメモリーを本機と接続する



別売 iPod/USB 接続用中継ケーブル (CA-LUB200D)

## お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーやデータが破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。


- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。
- 本機でUSBメモリーを使用する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

## お知らせ

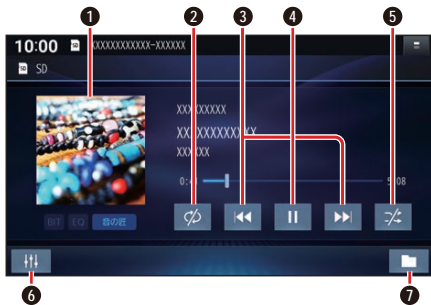
- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

## 音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する

## 準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入(P.43)するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続(P.44)してください。
- トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から使用するメディアを選択してください。**SD**を選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り換わります。
- 動画が再生された場合は、 を選び、**音楽**を選んでください。

## 音楽再生画面(例:SD)



- 1 アルバムアートワーク
- 2 繰り返し再生(リピート)
- 3 頭出し/早送り・早戻し
- 4 再生/一時停止
- 5 順不同に再生(ランダム)
- 6 オーディオチューン
- 7 再生するファイルの切換画面を表示(P.46)

## ジャケット写真を表示する

ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると、ジャケット写真が表示されます。

- ジャケット写真未設定の場合、のマークが表示されます。

## 早送り・早戻しする

### をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

## 曲を頭出しする

### をタッチする

## 一時停止する

### を選ぶ

- を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する(リピート)

### を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
1曲リピート→フォルダリピート\*1→通常再生→(1曲リピートに戻る)

## 順不同に再生する(ランダム)

### を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
フォルダランダム\*1→全曲ランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

\*1 フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。(P.46)

## お願い

- SD/USB再生中にSDメモリーカード/USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

## お知らせ

- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

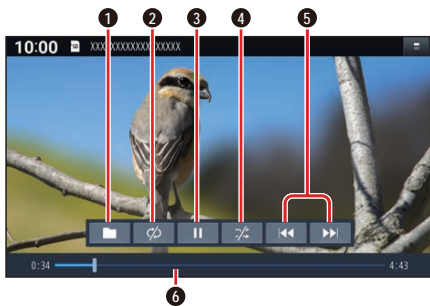
## 動画を再生する

### 準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入(P.43)するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続(P.44)してください。
- トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から使用するメディアを選択してください。**SD** を選ぶとSDに、**USB** を選ぶとUSBに切り換わります。
- 音楽が再生された場合は、 を選び、**動画** を選んでください。

## 動画再生中に画面にタッチする

## 動画操作画面(例:SD)



- ① 再生するファイルの切換画面を表示 (P.46)
- ② 繰り返し再生(リピート)
- ③ 再生/一時停止
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑥ 経過時間・残り時間・タイムバー

## 早送り・早戻しする

## ⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 動画の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の動画を再生します。

## 動画を頭出しする

## ⏮ ⏭ をタッチする

## 一時停止する

## ⏸ を選ぶ

- ⏪ を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する(リピート)

## 🔄 を選ぶ

- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
1ファイルリピート→フォルダリピート→通常再生→(1ファイルリピートに戻る)

## 順不同に再生する(ランダム)

## 🎲 を選ぶ

- リスト内の全動画を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
フォルダランダム→全ファイルランダム→通常再生→(フォルダランダムに戻る)

## お願い

- SD/USB再生中にSDメモリーカード/USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

## 再生するファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

## 1 📺 を選ぶ

## 2 ファイルの種類を選ぶ

- **音楽**: 音楽再生
  - ・手順3へ
- **動画**: 動画再生
  - ・続けて再生したいフォルダ・ファイルを選ぶ

## 3 いろいろな方法で選曲する(音楽再生の場合のみ)

## 選曲するリストを選ぶ

- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **全曲**: 全曲を表示(リストを絞らない)
- **フォルダ**: フォルダのリストを表示

## 4 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**: 選んだリストの全曲を表示(リストを絞らない)

## 5 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

## お知らせ

- 全曲モードでは50音順に再生されます。アルバムごとの再生にはなりません。
- 曲数が多い場合は、選曲できるようになるまで時間がかかることがあります。

# iPodを再生する

## 本機で接続確認済みのiPod(2022年6月現在)

iPhone 13 Pro Max, iPhone 13 Pro, iPhone 13, iPhone 13 mini, iPhone 12 Pro Max, iPhone 12 Pro, iPhone 12, iPhone 12 mini, iPhone SE 第2世代, iPhone 11 Pro Max, iPhone 11 Pro, iPhone 11, iPhone Xs Max, iPhone Xs, iPhone Xr, iPhone X, iPhone 8, iPhone 8 Plus, iPhone 7, iPhone 7 Plus, iPhone SE 第1世代, iPhone 6s, iPhone 6s Plus, iPod touch 第7世代  
最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。  
<https://panasonic.jp/navi/>

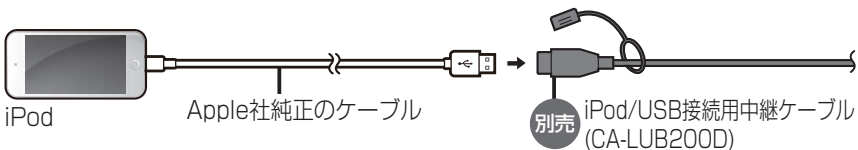
※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

### お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。
- 本機でiPodを使用する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

### お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。

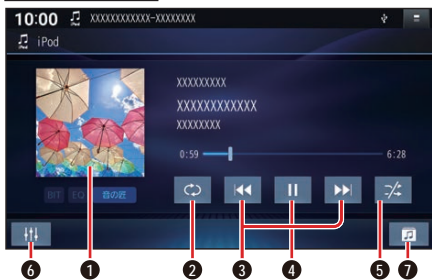


- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneを下図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®/CarAV remote Sの機能は利用できません。
- iPodビデオ再生には対応していません。

### 準備

- iPodを本機に接続してください。
- iPodの接続には、Apple社純正のLightning-USBケーブル(USB接続ケーブルに接続できる形状の接続口のもの)をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

## iPod再生画面



- ① アルバムアートワーク
- ② 繰り返し再生(リピート)
- ③ 頭出し/早送り・早戻し
- ④ 再生/一時停止
- ⑤ 順不同に再生(ランダム)
- ⑥ オーディオチューン
- ⑦ 選曲モード設定画面を表示(P.48)

## 再生する

トップメニュー(P.14)、オーディオソース一覧(P.29)または全機能一覧から **iPod** を選んでください。

## お知らせ

- ケーブルで接続したiPodをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、USB接続でiPodの音楽を再生するか、BLUETOOTH Audio機器として接続するかを選んでください。BLUETOOTH Audio機器として接続することを選んだ場合も充電されます。

## アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。
    - ・アルバムアートワークがない
    - ・アルバムアートワーク取得中
    - ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している
- ※画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

## 選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

リストを絞って選曲することができます。

## 1 を選ぶ

## 2 選曲するリストを選ぶ

- **再生中のプレイリスト**: 再生中のプレイリストから選曲
- **全曲**: 全アルバム全曲から選曲
- **アルバム**: アルバム別で選曲
- **アーティスト**: アーティスト別で選曲
- **ポッドキャスト**: ポッドキャストから選曲
- **ジャンル**: ジャンル別で選曲
- **プレイリスト**: プレイリスト、またはラジオから選曲
- **作曲家**: 作曲家別で選曲
- **オーディオブック**: オーディオブックから選曲

## 3 リストから項目を選ぶ

- **ALL**: 選んだ選曲方法から全曲を表示

## 4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

## 一時停止する

## を選ぶ

- を選ぶと、再生を開始します。

## 繰り返し再生する(リピート)

## を選ぶ

- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。  
全曲リピート\*1 → 1曲リピート → 通常再生 → (全曲リピートに戻る)

\*1 リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。(P.48)

## 順不同に再生する(ランダム)

## を選ぶ

- リスト内\*2の全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

\*2 リストの内容は、選曲方法によって異なります。(P.48)

## 早送り・早戻しする

## をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 曲の最後まで早送りした場合、通常の再生に戻り、次の曲を再生します。

## 曲を頭出しする

## をタッチする

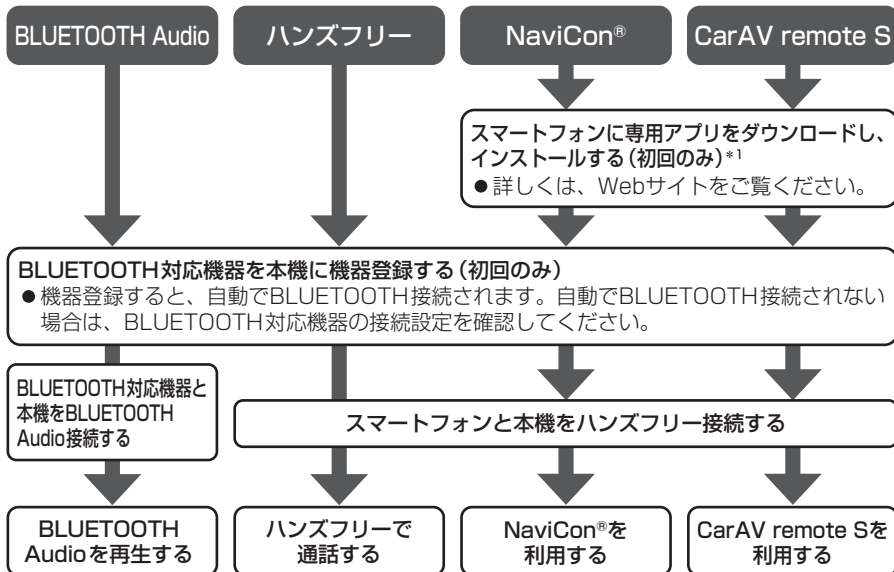


「使い方ガイド」(P.3)ではBLUETOOTH®、およびWi-Fi機能について、さらに詳しい説明を掲載しています。  
「使い方ガイド」トップページから **機能別で調べる** ▶ **BLUETOOTH®/Wi-Fi** の順にお進みください。

## BLUETOOTH®対応機器を利用する前に

BLUETOOTH通信を利用して、BLUETOOTH Audio (P.39)、ハンズフリー通話 (P.53)、NaviCon®、CarAV remote Sの機能を利用できます。

### ご利用の流れ



- BLUETOOTH対応機器は5台まで登録可能です。  
接続台数は、使用する機器に「電話」/「オーディオ」を選んだ1台ずつです。
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録機器を消去してください。
- 適合機種については、Webサイト (<https://panasonic.jp/navi/>) をご覧ください。  
※動作確認の対象は、国内3キャリア (docomo, au, SoftBank) の製品です。  
一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。
- ※すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。  
ハンズフリーは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。

- 操作方法は対応機器によって異なります。

詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

\* 1 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

### 本機で利用できるプロファイルについて

	サービス	プロファイル
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile (HFP)
	電話帳転送	Phone Book Access Profile (PBAP)
BLUETOOTH Audio		Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
NaviCon® *1		Serial Port Profile (SPP)
CarAV remote S *1		

\* 1 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

# BLUETOOTH対応機器を本機と接続する

「BLUETOOTHについて」(P.80)をよくお読みください。

## お知らせ

- 接続中の機器は、次回には自動的に接続されます。登録した別の機器を接続したい場合は、「BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する」を行ってください。(P.50)

## BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録する(初回のみ)

### 1 ナビゲーション側

#### 1 スマートフォン接続設定メニューから、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ

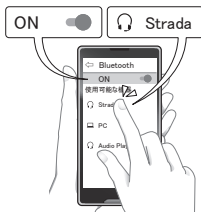
#### 2 BLUETOOTH設定画面から

##### **機器登録**を選ぶ

- 本機がBLUETOOTH接続待機状態になります。
- すでに5台登録されているときは登録できません。メッセージが表示された場合は、**はい**を選んで登録済みの機器を消去してください。

### 2 スマートフォン・オーディオ機器側

#### 1 表示されたデバイスリストの中から“Strada”を選ぶ



#### 2 表示された内容を確認してペア設定する

- お使いのスマートフォンによっては、連絡先の同期を許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。連絡先を本機に同期する場合には許可を設定してください。

### 3 ナビゲーション側

#### 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

オーディオ：BLUETOOTH Audio 接続(BLUETOOTH Audio再生を使用する)  
電話：ハンズフリー接続 (ハンズフリー通話、NaviCon®、CarAV remote Sを使用する)

- スマートフォン・オーディオ機器がBLUETOOTH機器登録され、選んだ機能で本機と接続されます。  
※BLUETOOTH接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。

## BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する

### 1 スマートフォン接続設定メニューから、**BLUETOOTH 設定**を選ぶ

### 2 BLUETOOTH設定画面から、変更したい機器を選ぶ

### 3 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

オーディオ：BLUETOOTH Audio 接続(BLUETOOTH Audio再生を使用する)  
電話：ハンズフリー接続 (ハンズフリー通話、NaviCon®、CarAV remote Sを使用する)

- 設定した内容で本機とBLUETOOTH接続されます。  
※接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続する機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。

## 本機のBLUETOOTH機能のOFF/ONを切り換える

- 1 スマートフォン接続設定メニューから、**BLUETOOTH設定**を選ぶ
- 2 BLUETOOTH設定画面から、**オプション**を選ぶ
- 3 BLUETOOTH**OFF**を選ぶ
  - BLUETOOTH機能がOFFになります。
  - **ON**を選ぶと、BLUETOOTH機能がONになります。

## スマートフォンが接続できない場合の案内表示のOFF/ONを切り換える

- 1 スマートフォン接続設定メニューから、**BLUETOOTH設定**を選ぶ
- 2 BLUETOOTH設定画面から、**オプション**を選ぶ
- 3 携帯電話未接続案内**OFF**を選ぶ
  - 登録時に「電話」を選んだスマートフォンと本機が接続できない場合でも案内を表示しません。
  - **ON**を選ぶと、登録したBLUETOOTH機器と本機が接続できない場合に案内表示を行います。


### お知らせ

- 本機に「電話」を選んだスマートフォンが登録されていない場合、携帯電話未接続案内機能は使用できません。


## スマートフォンのWi-Fiネットワークに本機を接続する

### スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する

- スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録すると、下記の機能を利用できます。
- ※テザリングのご利用には事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。(キャリアや契約状況によって異なります)
  - ※スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
  - タイトルの更新(音楽CD、MEMORY MUSIC)

- 1 **スマートフォン側**  
Wi-Fiテザリング(APモード)の設定をする
  - 1 Wi-Fiテザリング(APモード)を**ON**にする
  - 2 Wi-Fiテザリング設定から、ネットワーク名(SSID)とパスワードを確認する
- 2 **ナビゲーション側**
  - 1 スマートフォン接続設定メニューから、**Wi-Fi設定**を選ぶ
    - 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。
  - 2 Wi-Fi設定画面から**接続する機器**を選ぶ
    - 手順1で確認したネットワーク名(SSID)を選択してください。
  - 3 **パスワード**を選ぶ
  - 4 **パスワード**を入力し、を選ぶ
    - 手順1で確認したパスワードを入力してください。

**5 接続を選ぶ**

- スマートフォンがWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。
- ※Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されません。(登録は消去されません。)
- を選ぶと、パスワードの文字を表示します。

**6 本機のログ送信を許可するか選ぶ**

- 許可**を選ぶと、Wi-Fi接続時にログを自動的に送信します。送信されたログは、製品やサービスの品質向上に利用します。詳細については情報提供のお願いメッセージを確認してください。
- 許可しない**を選ぶと、自動ログ送信機能は無効となりログの送信は行いません。
- 今後表示しない**のチェックボックスをONにすると、次回からWi-Fi接続してもメッセージは表示されません。ただし、**許可**／**許可しない**を選ぶ前に走行してメッセージが消えた場合は、次回も表示されます。

**お知らせ**

- 送信されるログには、運転状況、本機の利用状況などが含まれます。個人情報を含みません。
- 自動ログ送信機能の有効／無効は変更できます。(P.66)無効から有効に切り換えた場合、切り換え以前に**今後表示しない**のチェックボックスをONにしても、Wi-Fi接続時に情報提供のお願いメッセージが表示されます。
- ログの送信には通信費用がかかります。(送信するログの容量は最大で、1日に約16 MB、1か月に約160 MBです。)

**Wi-Fi接続する機器を変更する****1 スマートフォン接続設定メニューから、Wi-Fi設定を選ぶ**

- 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

**2 Wi-Fi設定画面から接続する機器を選ぶ**

- 選んだ機器が本機に登録されていない場合はネットワーク登録を行います。ネットワーク登録が完了すると、選んだ機器に切り換わります。詳しくは、スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録するの手順2(P.51)をご覧ください。

**3 決定を選ぶ**

- 選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。
- ※Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

**お知らせ**

- 使用するスマートフォンが対応しているセキュリティ方式によっては、本機とWi-Fi接続できない場合があります。本機が対応するセキュリティ方式については、(P.81)をご覧ください。

**本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り換える****1 スマートフォン接続設定メニューから、Wi-Fi設定を選ぶ****2 Wi-Fi設定画面から、モード変更を選ぶ****3 OFFを選ぶ**

- Wi-Fi機能がOFFになり、接続が解除されます。
- ネットワーク**を選ぶと、Wi-Fi機能がONになります。

# ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

## 準備

- スマートフォンを本機に登録し、ハンズフリー接続してください。(P.50)

## お知らせ

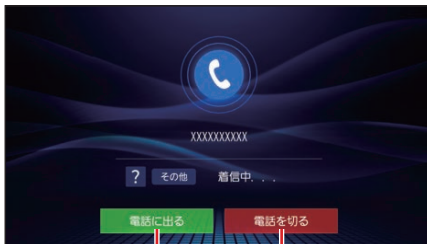
- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。
- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機とBLUETOOTH接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- オーディオソース再生中に着信すると、再生が一時停止／一時消音します。通話が終わるとオーディオソースの再生を再開／消音を解除します。

## ■ 本機に登録された電話帳・発信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。
- 手動で個別に選んで登録することはできません。
- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2,000件まで表示できます。また、電話番号は1件につき5つまで表示できます。
- 発信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信を合わせて100件まで表示できます。
- 本機と接続しているときに、スマートフォン側で電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。一度接続が解除され、再度接続されたときに(本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど)に反映されます。

## 電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



- ① 電話に出る
- ② 電話を切る

## 電話に出る

**電話に出る**を選ぶ

- 通話を開始します。

## 電話に 응답せず切る

**電話を切る**を選ぶ

- 着信が切れます。

## お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、着信中に**電話を切る**を選んでも電話に出る場合があります。

## 通話中の操作



- ① 電話を切る
- ② キーパッド(10キー)を表示
- ③ ミュート
- ④ 通話の切り換え
- ⑤ 通話相手の氏名

### トーン信号を送る

トーン信号(ピップポップ)を送り、プッシュホンサービスなどを利用できます。

- 1 **キーパッド**を選ぶ

- 2 **数字**を選ぶ

### ミュートする

送話音を消音します。

- 1 **ミュート**を選ぶ

- 再度選ぶと、解除されます。

### 通話を切り換える

通話をスマートフォンに切り換えます。

- 1 **携帯電話切替**を選ぶ

- **ハンズフリー切替**を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

### 電話を切る

- 1 **電話を切る**を選ぶ

- 通話を終了します。

## 電話をかける

### 電話帳から電話する

- 1 トップメニュー(P.14)または全機能一覧から**ハンズフリー**を選ぶ  
●ハンズフリー画面が表示されます。
- 2 ハンズフリー画面から、**電話帳**を選ぶ
- 3 電話帳から、**電話番号**を選ぶ  
●選んだ電話番号に電話をかけます。

### 電話番号を入力して電話をかける

- 1 トップメニュー(P.14)または全機能一覧から**ハンズフリー**を選ぶ  
●ハンズフリー画面が表示されます。
- 2 ハンズフリー画面から、**ダイヤル**を選ぶ
- 3 電話番号を入力し、**発信**を選ぶ  
●電話をかけます。  
● **✖**: 1文字削除

### 発信履歴から電話をかける

- 1 トップメニュー(P.14)または全機能一覧から**ハンズフリー**を選ぶ  
●ハンズフリー画面が表示されます。
- 2 ハンズフリー画面から、**履歴**を選ぶ
- 3 **発信履歴 / 不在着信 / 着信履歴**を選ぶ  
●発信履歴/不在着信/着信履歴のリストが表示されます。
- 4 リストからかける相手を選ぶ  
●選んだ相手に電話をかけます。

「使い方ガイド」(P.3)では本機の設定や外部機器との接続、困ったときの対応などについて、さらに詳しい説明を掲載しています。  
「使い方ガイド」トップページから **機能別** で調べる ▶ **その他** の順にお進みください。

## 本機の情報を確認する

### 製造番号・バージョン・更新期限などを確認する

本機の実車ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

#### 1 システム情報・設定メニューから、バージョン情報を選ぶ

#### 2 各種情報を確認する

- 車載器ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
  - ・ 道路地図：道路地図データ
  - ・ 画像：案内画像データ
  - ・ 音声：音声案内データ
  - ・ 索引：索引データ(地点検索)
  - ・ 市街図：市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenote データベース
- ドライブレコーダーバージョン

### 端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

#### 1 システム情報・設定メニューから、端末情報を選ぶ

#### 2 端末情報を確認する

- 端末の状態
  - ・ IPアドレス
  - ・ Wi-Fi MACアドレス
  - ・ 稼働時間
  - ・ 位置情報
- 法的情報：各種ライセンス情報など
- モデル番号：本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネルバージョン
- ビルド番号

## メンテナンス情報を設定する

設定に応じて、車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などが来たことをお知らせします。

#### 1 システム情報・設定メニューから、メンテナンス通知設定を選ぶ

#### 2 メンテナンス通知設定画面から、お知らせする項目のONを選ぶ [お買い上げ時の設定：OFF]

- 以下の項目を設定できます。
  - ・ 車検
  - ・ 定期点検
  - ・ エンジンオイル交換
  - ・ エンジンオイルフィルター交換
  - ・ エアエレメント交換
  - ・ エアコンフィルター交換
  - ・ 発炎筒交換
  - ・ パンク修理剤交換
  - ・ カスタマイズ1～カスタマイズ3
- **カスタマイズ1～カスタマイズ3** を選び項目名を変更すると、お知らせする項目を追加できます。項目名は全角12文字(半角24文字)まで設定できます。

#### 3 通知条件を設定する

- **日付で設定**：指定した年月日にあわせて通知
- **距離で設定**：指定した走行距離に合わせて通知

#### 4 上下方向にフリックして設定する

#### 5 決定を選ぶ

- **日付で設定** で設定した場合は、設定日が表示されます。
- **距離で設定** で設定した場合は、設定した距離までの残距離/設定した距離が表示されます。

## メンテナンス情報のお知らせについて

設定日当日以降／設定した距離を走行後以降、本機を起動したときにそれぞれお知らせします。

また、設定日の1か月以内になった場合／設定した距離まで500 km以内になった場合は、本機を起動したときにそれぞれ事前お知らせをします。

### 例：車検



また、ステータスバーにアイコンが表示されます。(P.18)

### お知らせ

- メンテナンス情報の事前お知らせは、設定条件を満たすと1度だけ表示されます。
- メンテナンス情報のお知らせは、設定条件を満たすと、本機を起動するたびに表示されます。表示しないようにするには、お知らせを解除してください。(P.56)
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は、車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

## メンテナンス情報のお知らせを解除するには

メンテナンス情報のお知らせを表示しないようにするには、項目を対象外にするか、通知条件を再設定します。

### 項目を対象外に設定する

- 1 システム情報・設定メニューから、**メンテナンス通知設定**を選ぶ
- 2 メンテナンス通知設定画面から、解除したい項目の**OFF**を選ぶ
  - 選んだ項目が解除されます。
- 3 通知条件を消去する場合は**はい**、通知条件を残す場合は**いいえ**を選ぶ
  - **いいえ**を選んだ場合、再度項目の**ON**を選ぶと保存された通知条件が設定されます。

### 通知条件を再設定する

- 1 システム情報・設定メニューから、**メンテナンス通知設定**を選ぶ
- 2 メンテナンス通知設定画面から、再設定を行う項目の通知条件を選ぶ
- 3 通知条件を設定する
  - **日付で設定**：指定した年月日に合わせて通知
  - **距離で設定**：指定した走行距離に合わせて通知
  - **距離で設定**を選んだ場合、走行距離は設定した時点から測定されます。
- 4 上下方向にフリックして設定する
- 5 **決定**を選ぶ



# 本機のデータを更新する

## 有償地図更新のご案内

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。  
年度更新地図の発売時期・販売方法・更新内容などについては、決定しだい、下記サイトにてご案内します。

<https://panasonic.jp/navi/>



## 無料地図更新サービス CN-HA02D CN-HA02WD

### 準備

- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
- 無料地図更新のご利用には、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録は地図更新アプリから行ってください。
- SD規格に準拠した16 GB以上のSDメモリーカードをご用意ください。

### ■ 地図更新アプリ

- 対応OS : Windows 8.1/Windows 10  
※ 地図更新アプリを使用するには、.NET Framework 4.8のインストールが必要です。
- ダウンロードURL : <https://panasonic.jp/car/navi/freemap/>
- インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、当社サイトをご覧ください。（通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。）

### 有効期間と更新範囲

**【利用可能期間】本製品の使用開始日から最大3年間**

**【データ提供期間】2026年12月15日まで（予定）**

※ 使用開始日の判定は自動的に行われ、無料地図更新期限が設定されます。

（無料地図更新期限を確認するには（P.55））

※ 使用開始日から3年未満でも、データ提供期限にて終了いたします。

● **全地図更新：期間中1回可能**

● **全地図更新データは年1回更新（約10 GB）**

● データのサイズは定期的に更新している場合の目安です。更新の頻度などにより異なります。

※ 更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。

（配信は延期・中止される場合があります。）

### ■ 更新内容

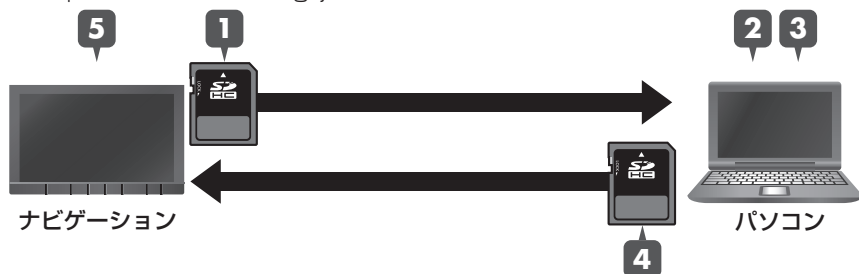
- 道路地図（縮尺50 m ~ 250 km） ※細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図


## パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する

### 準備

- SDメモリーカードはパソコンで初期化したものを使用してください。初期化にはSD File System Specification 準拠のSDメモリーカードフォーマッターを使用してください。

SDメモリーカードフォーマッターダウンロードWebサイト  
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>



- 1 ナビゲーションにSDメモリーカードを挿入し、システム情報・設定メニューから、**ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新用SDカード作成 ▶ はい**を選ぶ  
 ●更新用SDメモリーカードが作成されます。
- 2 更新用SDメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する
- 3 地図更新アプリを起動し、更新データをダウンロードして更新用SDメモリーカードに保存する
- 4 更新用SDメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する  
 ●ステータスバーにが表示されます。
- 5 システム情報・設定メニューから、**ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する**を選ぶ  
 ●データの更新を開始します。(更新中に本機が再起動する場合があります。)  
 ●更新に要する時間は、更新データの容量により異なります。  
 ●更新中は、本機を操作できません。

### お願い

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

# ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。
  - ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。
- ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

## お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
  - ETCカードを入れたままエンジンをかけた（ACCをONにした）とき
  - ETCカードを入れたままエンジンを止めた（ACCをOFFにした）とき

## 信号情報活用運転支援システム (TSPS) による情報提供サービス

道路に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。

表示例

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができるとき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき（信号通過支援）*1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤になると予測したとき（赤信号減速支援）*1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青になるときの待つとき（発進遅れ防止支援）		なし

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青になるとき（発進遅れ防止支援）		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

\*1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

## お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは（P.63）をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
  - 提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
  - 信号機の色が変わる直前のとき
  - 対象となる交差点までの距離が短いとき
  - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
  - 信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
  - 信号機の制御方式（押しボタン式、感应式など）により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供しているわけではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

## リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

### リアビューカメラに切り換える

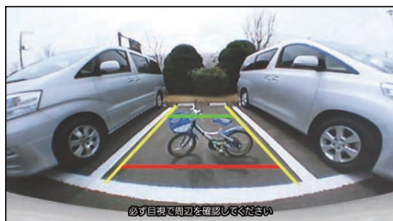
カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

#### 準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



#### お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、カメラの映像を表示して画質を調整してください。
- ドライブレコーダー(CA-DRO3HTD)を接続している場合、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

### リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

#### 1 システム情報・設定メニューからカメラ設定を選ぶ

#### 2 カメラ割込みONを選ぶ

- カメラ設定がONになります。  
[お買い上げ時の設定：OFF]

#### 3 カメラ種別からリアビューカメラの種類を選ぶ

[お買い上げ時の設定：汎用カメラ]

- ドライブレコーダー(CA-DRO3HTD)を接続している場合、ドライブレコーダーを選ぶと、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

#### 4 ガイド線表示のONを選ぶ

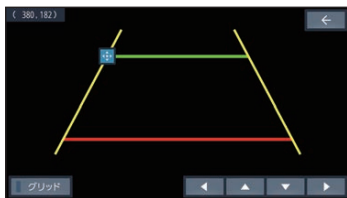
[お買い上げ時の設定：ON]


#### 5 ガイド線表示の調整を選ぶ

- カメラの映像が表示されない場合は、手順3でカメラ種別を変更してください。

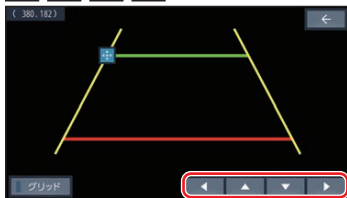
## 6 ガイドラインを調整する

### 1 ガイドラインの調整したい点をタッチする



- タッチした場所が  で表示されます。
- [MAP] を2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

### 2 ◀ ▶ ▲ ▼ で位置を調整する



- **グリッド**  
調整の目安となるグリッドの表示/非表示を切り換えます。

### 3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する



### 4 調整が完了したら、←を選ぶ

#### お知らせ

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) のリアカメラ映像を表示する場合は、リヤカメラ録画を「する」に設定してください。

## その他の外部機器と接続して使う

ドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書をよくお読みください。

### ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

### ドライブレコーダーのリアカメラで後方確認する

- ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続している場合のみ本機能が使えます。

#### 準備

- 「ダイレクトボタン設定」を「カメラモニター」に設定してください。(P.65)

#### 現在地画面で を選ぶ

- ナビ画面がリアカメラの映像に切り換わります。



解除するには、画面をタッチしてください。

# 利用に応じた設定に変える

## 地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから **ナビ設定** を選ぶ

2 **表示設定** を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ランドマーク設定	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
50m市街地図表示	「ON」： 50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「OFF」： 50 m縮尺のとき、広域地図で表示する
走行軌跡を表示	「ON」： 走行軌跡を表示する 「OFF」： 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する	<b>走行軌跡の記録を消去する</b> ▶ <b>はい</b> ：走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示 (P.20)	「ON」： 目的地方向直線を表示する 「OFF」： 目的地方向直線を表示しない
ゾーン30エリアを表示	「ON」： ゾーン30をエリア表示する 「OFF」： ゾーン30をエリア表示しない
自転車位置修正	自転車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

## ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから **ナビ設定** を選ぶ

2 **探索設定** を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示	「ON」： VICS自動再探索でルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「OFF」： 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択	「新ルート」： 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する 「元ルート」： 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「自動」： VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」： 一般道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する 「手動」を選んだ場合、 <b>+</b> / <b>-</b> で設定する ● 一般道：5 km/h～ <b>50 km/h</b> ～80 km/h ● 有料道路：5 km/h～ <b>80 km/h</b> ～100 km/h ● 「自動」「手動」を切り換えても、手動で入力した数値は保持されます。 ● 「自動」を選んでいる場合、手動で入力した数値は無視されます。
ルート学習結果の初期化	<b>ルート学習結果の初期化</b> ▶ <b>はい</b> ▶ <b>はい</b> ：本機のルート学習機能を初期化する

## ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニューから **ナビ設定** を選ぶ

2 **案内設定** を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
案内拡大図の表示	「ON」： 案内拡大図を表示する 「OFF」： 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示	「ON」： ルート案内中にETCレーン案内を表示する 「OFF」： ETCレーン案内を表示しない
方面看板の表示 (P.17)	「ON」： 方面看板を表示する 「OFF」： 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示	「ON」： ハイウェイマップを表示する 「OFF」： ハイウェイマップを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「ON」： オーディオ画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り換えて案内する(ルート案内が完了すると、オーディオ画面に戻ります) 「OFF」： オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆走注意アラーム (P.22、P.23)	「ON」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内する 「OFF」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内しない
VICS案内	「ON」： VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」： VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない

## ■ 信号情報活用運転支援設定\*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「OFF」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない(信号情報を受信しない)
赤信号減速支援 (P.59)*2	「ON」： 前方の信号機が赤信号に変わると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
信号通過支援 (P.59)*2	「ON」： 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
発進遅れ防止支援 (P.59)*2	「ON」： 前方の信号機が青に変わるまでの残り時間をアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
支援音声ガイド (P.59)*2	「ON」： 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援を音声で案内する 「OFF」： 音声で案内しない

\*1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

\*2 「光ビーコンアップリンク」が「ON」の場合のみ、設定できます。

## 渋滞情報案内(VICS)に関する設定

### 1 ナビ情報・設定メニューからナビ設定を選ぶ

### 2 渋滞設定を選び、各項目を設定する

## ■ FM VICS周波数

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
受信周波数	現在の周波数がFM多重放送の放送局の場合、放送局名を表示する
周波数の選局方法	「自動選局」： 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り換える 「手動選局」： FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する
手動選局	<b>[-] [+]</b> ： 周波数を設定する ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
エリア選局	FM VICSを受信したいエリア(放送局)を選ぶ ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。

## ■ ビーコン割込み設定\*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ビーコン受信音	「ON」： 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「ON」： 情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 情報が自動的に表示されない

## ■ ETC2.0割込み設定\*2

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC2.0受信音	「ON」： 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「ON」： 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「ON」： 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「OFF」： 情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「OFF」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

\* 1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

\* 2 ETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

## ETC情報の案内に関する設定

### 1 ナビ情報・設定メニューから**ナビ設定**を選ぶ

### 2 **ETCの音声案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC 音声案内	「ON」： 利用料金などを、本機から音声で案内する 「OFF」： ETC 音声案内しない ※「OFF」に設定されている場合も、ETCカード有効期限の案内は行います。
カード入れ忘れ案内	「ON」： 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する*1 「OFF」： カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「ON」： 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する*1 「OFF」： カード抜き忘れ案内しない

\* 1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

## 本機のシステムに関する設定・確認

### システム情報・設定メニューから、各項目を設定・確認する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
操作音	「ON」： 操作音を鳴らす 「OFF」： 操作音を鳴らさない
時計表示	「ON」： 画面に時計を表示する 「OFF」： 画面に時計を表示しない ※本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。



## ■ 案内音声設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	「ON」： ナビゲーションの音声案内中に、 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> で案内音量を調整できる 「OFF」： ナビゲーションの音声案内中に、 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> で案内音量を調整できない
案内音量の車速連動	「ON」： ナビ案内音量を車速連動する（走行速度によって自動的に音量を上げる） 「OFF」： ナビ案内音量を車速連動しない
案内出力スピーカー	「左前」： 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」： 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
案内時のAudio音量消音	「ON」： 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」： 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
音量設定 (P.12)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面OFF	画面を一時的に消すことができます。
トップメニューカスタマイズ (P.15)	トップメニューを編集することができます。

## ■ セキュリティ設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
セキュリティ設定	「ON」： セキュリティ機能を使用する 「OFF」： セキュリティ機能を使用しない
盗難多発地点 表示案内	「ON」： 盗難多発地点を地図に表示する 「OFF」： 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	「ON」： 盗難多発地点を市街地図に表示する 「OFF」： 盗難多発地点を市街地図に表示しない ※盗難多発地点 表示案内が「ON」のときのみ設定できます。

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
車種設定 (P.13)	使用しません。(販売店が設定します。)
メンテナンス通知設定 (P.55)	車両メンテナンス時期の通知について設定できます。
カメラ設定 (P.60)	リアビューカメラの設定ができます。
ドライブレコーダー設定	ドライブレコーダーの設定ができます。
ステアリングスイッチ設定 (P.29)	ステアリングスイッチに機能を登録することができます。
ダイレクトボタン設定 (P.61)	「ドライブレコーダー動画録画」： 動画録画タッチキーを表示する 「ドライブレコーダー静止画撮影」： 静止画撮影タッチキーを表示する 「カメラモニター」*1： ドライブレコーダーのリアカメラタッチキーを表示する 「表示しない」： ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内	「ON」： 休憩を促す音声案内を行う 「OFF」： 休憩案内しない
バージョン情報 (P.55)	車載器ID、製造番号、ソフト・地図・Gracenoteデータベースのバージョンなどを確認できます。
車両信号情報	車両信号情報を確認できます。
拡張ユニット情報	iPod、USB、ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。
ソフトウェア・地図更新 (P.58)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。

項目	設定内容
Gracenote データベース更新	Gracenote データベースを更新できます。
ナビヘルプ	ナビヘルプダウンロード先の二次元コードを表示します。
初期化 (P.66)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P.55)	本機の端末情報を確認できます。
自動ログ送信設定	<p>[ON]: 自動ログ送信機能を有効にする</p> <p>[OFF]: 自動ログ送信機能を無効にする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Wi-Fi接続時にログの送信が行われます。</li> </ul> <p>※自動ログ送信機能を有効にしても、Wi-Fi接続時に表示される情報提供のお願いメッセージで「許可」を選ばない限り、ログの送信は行いません。</p> <p>※ログの送信には通信費用がかかります。</p>

\* 1 ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続の場合のみ表示されます。

## 各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

### 1 システム情報・設定メニューから「初期化」を選ぶ

### 2 初期化する項目を選ぶ

### 3 「はい」▶「はい」を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。  
※「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、1 回目の「はい」で初期化されます。
- 初期化 (削除) した項目は、もとに戻せません。  
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め (ACC OFF)、ボタン照明が消えて約 10 秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください (ACC ON)。

項目	設定内容
SDカードの初期化	SDメモリーカードを初期化する (NTFS ファイルシステムは初期化できません) ● 録音した音楽データも削除されます。
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習機能を初期化する
出荷状態に戻す	<p>本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオがOFFに切り換わります。</li> <li>● ドライブレコーダーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。</li> </ul>

#### お願い

- 初期化中は他の操作 (オーディオを切り換えるなど) をしないでください。  
故障の原因となります。

#### お知らせ

- SDメモリーカードから録音データのみを消去する場合は、MEMORY MUSIC 再生画面 (P.42) から **I** ▶ **録音データ初期化** を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報 (登録地の住所や電話番号など)、自宅などの登録情報を必ず削除してください。

- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、システム情報・設定メニューから、**車両信号情報** ▶ **センサー学習値初期化** を選んでセンサー学習値を初期化してください。
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
  - オーディオOFF/ON
  - AM・FMの周波数
  - ディスク・USB/SD (音楽/動画) の再生位置
  - CD・DVD・USB・SD・MEMORY MUSICの再生モード
  - テレビの主番組/副番組、マルチチャンネルの設定

## よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。  
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。



### 自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。  
→ [MAP]を押してください。(P.17)

### 自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態 で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)  
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。  
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。  
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- **GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。**(取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。  
→ システム情報・設定メニューから、**車両信号情報**を選んで学習レベルを確認してください。学習レベルが1の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- **GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。**(取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。  
→ **GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。**(取付説明書)
- 本機を別の車に乗せかえた。タイヤをローテーションした。  
→ センサー学習値の初期化を行ってください。

### 縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。  
→ 地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。  
現在地画面で/を選び、縮尺を切り換えてください。

### ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。  
→ 汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。  
→ 正しい面で挿入しなおしてください。

### 地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。  
<https://panasonic.jp/navi/>

# 故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。  
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 電源・共通

### ■ 動作

内 容	ページ
<b>電源が入らない/起動が遅い</b>	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACCをONにして) ください。	(P.11)
低温状態または高温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部の温度が正常になると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
ナビゲーションの電源を切った直後にもう一度起動すると、起動に時間がかかる場合があります。	—
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
<b>電源が落ちる</b>	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11 V以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
<b>ディスプレイの上下角度が調整できない</b>	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
<b>タッチパネルの反応が悪い/反応しない</b>	
<b>アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。</b>	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	—
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
<b>ステアリングスイッチが正しく動作しない</b>	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、 <b>戻る</b> を選んで設定を完了してください。	取付説明書
<b>本機が温くなる</b>	
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
<b>SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない</b>	
● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。	(P.66、P.75)
● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	—

内 容	ページ
<b>ディスクが排出されない</b>	
録音中などの場合、ディスクが排出できない場合があります。 ● 時間をおいて、再度 <b>DISC EJECT</b> を選んでください。	—
本機で再生できないディスクを使用したり、ディスクに汚れ、指紋が付いている場合、ディスクが排出できない場合があります。 ● <b>▲</b> を 10 秒以上押してください。	—
<b>ディスクを挿入できない</b>	
すでにディスクが挿入されていて 2 枚目を挿入しようとしている。 ● 挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
<b>勝手に地図が動き始めたり、映像が再生されたりする</b>	
本機にはデモモードとして、ルート案内のデモ走行や本機に挿入されているディスクの映像を再生する機能があります。 ● ルート案内のデモ走行が動作している場合は、 <b>デモ走行中止</b> を選んでください。 ● 映像が再生されている場合は、画面をタッチし、 <b>■</b> を選んでください。 ● ルート案内のデモ走行、または映像再生の停止後、GPSを受信するかしばらく走行してください。以降はデモモードは動作しません。	— (P.35) —
<b>停車時に「走行中は映りません。」と表示される</b>	
電子パーキングブレーキ搭載車では停車中であっても操作制限がかかる場合があります。 ● <b>お買い上げの販売店にご相談ください。</b>	—

## ■ 画面／映像

内 容	ページ
<b>映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い</b>	
画質調整が適切でない。 ● <b>[MAP]</b> を 2 秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	—
本機が高温になると、画面の明るさを自動調整したり、画面の表示を停止する場合があります。 ● 本機の温度が下がるまでお待ちください。	—
本機が低温になっている場合、画面が白っぽくなる場合があります。 ● 車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
<b>画面が曇る</b>	
冷暖房を使用した直後などには、結露のため画面が曇ったり、正しく表示されない場合があります。 ● 結露が解消するまでお待ちください。	—
<b>画面に赤、青または緑の点が表示される</b>	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
<b>ディスプレイに何も表示されない/表示されるのが遅い</b>	
本機が低温になっている場合、映像の表示に時間がかかる場合があります。 ● 車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
一時的に画面を消している。(画面OFF) ● <b>[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/▲</b> のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
<b>電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。</b>	取付説明書
<b>電源コネクターのヒューズが切れている。</b> ● <b>お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。</b>	取付説明書
<b>音声は出るが、映像が出ない</b>	
一時的に画面を消している。(画面OFF) ● <b>[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/▲</b> のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—

内 容	ページ
パーキングブレーキをかけていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書

## ■ 音声

内 容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
フェーダー/バランスの設定を確認してください。	—
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.74)
iPod・スマートフォン・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書
雑音が出る	
スマートフォンなどを本機から離してください。	—
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
オーディオの音量が変わる	
オーディオ情報・設定メニューからオーディオチューンを選び、車速連動音量の補正量を「OFF」にしてください。	—

## 本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。  
それでも正常に戻らない場合は、**AUDIO**を15秒以上押して本体リセットを行い、再起動させてください。

- セキュリティコードを設定している場合は、本機を再起動するとセキュリティコード入力画面が表示されます。

## 結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。

## 万一、故障や異常が起ったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

## テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最適な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
  - ・ 放送局から遠い
  - ・ 電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
  - ・ 電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
  - ・ 無線用の送信アンテナが近くにある
  - ・ 車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が動作している場合
  - ・ 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンやスマートフォンなど）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
  - ・ 映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
  - ・ 静止画面や黒画面となり音が出なくなる

### お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
  - 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式\*<sup>1</sup>を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。
- \*<sup>1</sup> コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。  
一般社団法人地上放送RMP管理センター  
<http://www.trmp.or.jp/>

## ディスクについて

### 再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット				
	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *3	WMA *3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW *1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW *2	—	—	○	○	○

\* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

\* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

\* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Voiceには対応していません。

#### お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

### コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

### DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋などにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。



## ディスクに記載されているマークについて

### ■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。  
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
  - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。  
「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



### ■ 字幕言語数



### ■ 音声言語数



### ■ アングル数



### ■ 画面サイズ(横:縦の比)

映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

#### 4:3の標準サイズ(4:3)

レターボックス(LB)

#### 16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。 

16:9	LB
------	----

画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。 

16:9	PS
------	----

## 再生できないディスク

- 8 cmディスク\*1
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA\*2
- VSD
- CVD
- DualDisc\*3
- DTS-CD
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- DIVX Videoディスク など

\* 1 シングリアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

\* 2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。

\* 3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

## ディスクの取り扱い

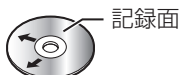
### ■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



### ■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

### ■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

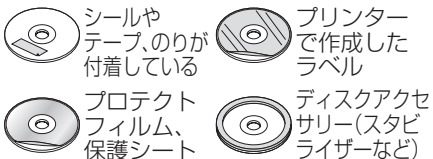
## 長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

## 使用できないディスクについて

下記のディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

### ラベルなどを貼り付けたディスク



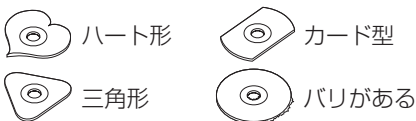
### 破損・変形したディスク



### 透明なディスク



### 円形以外の特殊な形状のディスク



# SDメモリーカード・USBメモリーについて

## SDメモリーカードについて

### ■ 本機で使用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。ただし、microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)\*1
- SDHCメモリーカード(32 GB以下)\*1
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下)\*1\*2
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)\*1\*2
- microSDメモリーカード(2 GB以下)\*2
- miniSDメモリーカード(2 GB以下)\*2

\*1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

\*2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

### ■ SDメモリーカードを使用する前に

本機で初期化してください。(P.66)  
または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

[http://panasonic.jp/support/sd\\_w/download/](http://panasonic.jp/support/sd_w/download/)

#### お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

## USBメモリーについて

### ■ 本機で使用できるUSBメモリー

- USB マスストレージ規格準拠
- 容量: 32 GB以下

- ファイルシステム: FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

#### お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

## SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
  - ・SDメモリーカードを取り出す
  - ・USBメモリーを取り外す
  - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

## データ作成時の留意点

### 音楽データについて

本機は、CD-R/RW、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した音楽データを再生できます。

### 音楽データの規格について

#### ■ MP3

項目	内容
規格	MEPG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/160 kbps/192 kbps/224 kbps/256 kbps/320 kbps/VBR</li> <li>● MPEG-2 Audio Layer 3 8 kbps/16 kbps/24 kbps/32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/144 kbps/160 kbps/VBR</li> </ul> ※ free format bitstream/forbiddenは非対応
ビットレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz</li> <li>● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz</li> </ul>
サンプリング周波数チャンネル	2 CH/1 CH (Stereo/Joint Stereo/Dual Channel/Single Channel)
タグ情報	ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2/Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

#### ■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8/Ver.9 std/Ver.9 Lossless/Ver.10 pro 2 CH 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR : 5 kbps ~ 320 kbps VBR : Peak 384 kbps
サンプリング周波数チャンネル	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 2 CH、1 CH (Stereo/Mono)
タグ情報	WMA タグ : タイトル、アーティスト名、アルバム名

#### ■ AAC

項目	内容
規格	MPEG-4/AAC LC(Low Complexity)、MPEG-2/AAC LC(Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps/VBR
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
チャンネル	2 CH、1 CH (Stereo/Mono)
タグ情報	AAC タグ、ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2/Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

## ■ FLAC

項目	内容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit/24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/ 96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
チャンネル	Stereo/Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

## ■ WAV

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit/24 bit
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz

- m3u/MP3i フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- WMA Voiceには対応していません。
- DRM (デジタル著作権管理)には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio規格など) は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- WAVファイルはLPCM (整数型) に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応していません。
- FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。

### お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル (例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル) は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証していません。

## 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

## 音楽ファイルの再生について

- ハイレゾ品質で音楽を再生するには本機からスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。
  - 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
  - リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※ 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

## ジャケット写真について

3 MB以下のJPEG/PNG/BMP形式の画像に対応しています。  
他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 130ピクセル×130ピクセル未満の画像は表示エリアより小さく表示されます。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

## 動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

## 動画データの規格について

### ■ コンテナフォーマット

- MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ (P.76))

- AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ (P.76))

●MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H. 264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ (P.76))

●ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ (P.76))

■映像コーデック詳細

●H.264/MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile/3、MainProfile/3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

●MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile/5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

●VC-1

項目	内容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile/2	MainProfile/ Medium	SimpleProfile/ Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。  
そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)は再生できません。

## BLUETOOTHについて

### ■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

- BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」へご相談ください。（P.95）

### ■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

### ■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

### ■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

### ■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

### ■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
  - BLUETOOTH Audio
    - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
    - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
  - ハンズフリー通話
    - Hands-Free Profile (HFP)
  - 電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
    - Phone Book Access Profile (PBAP)
  - NaviCon®/CarAV remote S
    - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。



# Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定与干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
  - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
    - 本機の分解や改造をする
    - 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
  - 本機は、電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。
  - 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

## ■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHzのみ)

対応セキュリティ方式
OPEN
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

## ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

### 自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

#### ■ GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

#### ■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所 (GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所) で、2分程度で測位します。

電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

#### ■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

#### ■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

#### ■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



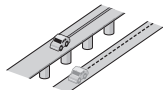
### 走行中の道路を誤って認識したとき (道路切換)

高速道路と一般道路が近くにある場合、自転車マークが実際と異なる道路に表示されることがあります。その場合は、道路切り換えを行うと自転車位置を修正できることがあります。

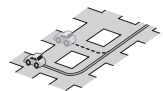
## 自転車位置精度について

### ■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

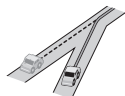
- 高速道路と一般道路が近くにある



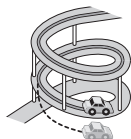
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自転車マーク位置は自動的に補正されます。

### ■ 下記の場合も、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき

- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき
- (車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため)駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

### ■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自転車マークがずれる場合があります。

### ■ 3Dセンサーによる高架判定について

自転車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自転車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
  - ・別の車に載せかえた
  - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

## 逆走検知警告について

### ■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走検知警告が表示された地点で「ここでは案内しない」のチェックボックスをONにしていた場合

### ■ 下記のような場合は、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

## ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

### ■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

## 電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあります、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

## 名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあります、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

## マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-solution.com/mapcode/>

## ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

**電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。**

### ■ 電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

### お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。  
取り付けの際は販売店にご相談ください。

## FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

### ■ FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

#### お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

### ■ 光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

#### お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

# VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にお問い合わせください。

**VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。**

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

## VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
- PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

## VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまらぬ、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

## VICS情報有料放送サービス契約約款

### 第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。 )は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。 )を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1)VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2)VICSサービス契約:当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3)加入者:当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4)VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

### 第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1)文字表示型サービス:文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2)簡易図形表示型サービス:簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3)地図重畳型サービス:車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

### 第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

### 第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

### 第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

### 第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免費)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

- 但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)  
ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂



## 商標などについて

- Microsoft, Windows, Windows Media and .NET Framework are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- 「DVD Logo」は、DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- 「ゼンリン」および「ZENRIN」は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 「タウンページ」は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® (WPA) はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



## ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記のGPL/LGPL ソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/103nf1x1>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のウェブサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/103nf1x1>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html>

### ■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ[www.gracenote.com](http://www.gracenote.com) をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote, Gracenoteロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴは、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

## 仕様

	CN-HE02D/CN-HA02D	CN-HE02WD/CN-HA02WD
<b>電源</b>		
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース	
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)	
<b>液晶ディスプレイ</b>		
画面寸法 (幅×高さ×対角)	7 V 型ワイド 156 mm×80 mm×175 mm	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	2 764 800 画素 (縦 720×横 1 280×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)	
<b>アンプ</b>		
定格出力	18 W×4	
最大出力	45 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 Ω～8 Ω 使用可能)	
<b>接続端子</b>		
カメラ入力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCA ピンジャック)/HD-TVI	
ビデオ出力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCA ピンジャック)	
<b>ナビゲーションユニット</b>		
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×184 mm (取付奥行き寸法 165 mm)	206 mm×104 mm×177 mm (取付奥行き寸法 161 mm)
質量	約 2.4 kg	約 2.5 kg
動作温度	-10 °C～+60 °C	
<b>DVD プレーヤー</b>		
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC 方式 1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	5 Hz～22 kHz( サンプリング周波数 48 kHz)	
ワウ・フラッター	測定限界以下	
<b>FM チューナー</b>		
受信周波数	76.0 MHz～95.0 MHz	
実用感度(SN 比、30 dB)	15 dB $\mu$ V 以下	
SN 比(入力 54 dB $\mu$ V)	50 dB 以上	
ステレオ分離度(入力 60 dB $\mu$ V)	35 dB	

AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (SN 比、20 dB)	37 dB $\mu$ V 以下
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 $\Omega$
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 400 mA
BLUETOOTH	
対応規格	Bluetooth Ver.5.2
パワークラス	Class 2
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP/PBAP/SPP
対応コーデック	SBC, AAC
Wi-Fi	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n(2.4 GHz のみ)
対応チャンネル	1 CH ~ 13 CH
出力	最大 +14 dBm
対応セキュリティ方式	OPEN/WPA2-Personal/WPA3-Personal
GPS アンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	26 mm × 14 mm × 30 mm
質量	約 50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/A コード)
受信可能衛星	GPS、QZSS (準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ)	118 mm × 81 mm
質量	約 170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 $\Omega$

● 画面サイズのV型 (7 V型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

## 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

### まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

### 修理をされるときは

「困ったとき」(P.67)でご確認のあと、なおらないときは、まず電源を切り、お買い上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

#### ご連絡いただきたい内容

製品名	カーナビステーション
品番	お買い上げ製品の品番にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> CN-HE02D <input type="checkbox"/> CN-HE02WD <input type="checkbox"/> CN-HA02D <input type="checkbox"/> CN-HA02WD
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

### 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

■ 使いかた・お手入れなどのご相談は…

「パナソニック お客様ご相談センター」へ→裏表紙

■ 修理に関するご相談は…

お近くの「修理相談窓口」へ →P.95

#### ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

個人情報保護方針の詳細については Web サイトをご覧ください。

<https://automotive.panasonic.com/privacy-policy>

**？ 使いかた・お手入れなどのご相談窓口**

**お客様ご相談センター**

電話  フリーダイヤル コー パナソニック  
**0120-50-8729**  
 ■上記番号をご利用いただけない場合  
**045-929-0511** (有料)  
 受付時間 9:00～17:00  
 年中無休 (当社指定休日を除く)

FAX (有料) **045-938-1573**  
 受付時間 9:00～17:00  
 (土・日・祝日・当社指定休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ)  
 メールでのお問い合わせ  
[panasonic.jp/car/navi/faq](https://panasonic.jp/car/navi/faq) 

**修理に関するご相談窓口**

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理相談窓口」(P.95)へご連絡ください。

**修理相談窓口サイト**

<https://panasonic.jp/car/customer/repair/index.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- 回線が混雑しているときは、呼び出し中に切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

<p><b>製造番号 (Serial No.)</b></p>	<p>万一の故障や盗難時に必要です。同梱の保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。</p> <p>( )</p>
<p><b>固有番号 (車載器ID)</b></p>	<p>製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「バージョン情報」(P.55)で、番号をご確認ください。</p> <p>( )</p>

**パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社**

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Automotive Systems Co., Ltd. 2022